

教育（高等教育・大学改革）

大学自らの総合力

理念とFDそしてSD

寺崎昌男著

ISBN 978-4-7989-0001-8 C3037 [2010] 四六・184頁・2000円

大学の刷新に繋がるものの全て—それらを凝集した幅広い総合力が大学を救う。著者渾身の時論集。

【主要目次】1. 大学の理念—それをどう考えていくか 2. 大学の量的拡大・水準維持・未来 3. 「学部」—それは何か 4. 大学教員はいかなる意味で教育者 5. FD・SDを「わがこと」とするために 6. 職員のための「大学リテラシー」試論 7. 自校教育はなぜ重要か 8. 大学改革と大学アーカイヴズの役割—今求められているもの

大学改革 その先を読む

立教大学「大学教育開発・支援センター」連続セミナー講演記録

寺崎昌男著

ISBN 978-4-88713-788-2 C3037 [2007] A5・208頁・1300円

大学は何に適応し、どのような価値にこだわるべきか？大学教員・職員、関係者への現場発のメッセージ。

【主要目次】1. 大学改革の歴史130年—何が達成され何が残されたか 2. 学士課程教育と大学院教育—それぞれの抱える課題と連続性への着眼 3. カリキュラムと授業—大学の勝負を分けるもの 4. 教員と職員—それぞれのミッションと「支援・協働」 5. 私学—その課題と未来を考える

大学は歴史の思想で変わる

FD・評価・私学

寺崎昌男著

ISBN 4-88713-723-0 C3037 [2006] 四六・432頁・2800円

常に歴史の視座を踏まえ今日の中核課題を縦横に論究。著者長年の研鑽と体験を凝集した時論集第4弾。

【主要目次】1. FDと教職員そして自校教育(FD再考 三たびFDを考える ほか) 2. 教育評価・研究評価(日本の大学評価ほか) 3. 大学院と学位(日本の大学院とその教育) 4. 文書館(大学アーカイブスほか) 5. 存在としての私学、歴史としての私学(私立大学—歴史が残した問題、今後の課題 戦前私学の位置と存在理由 ほか)

大学教育の可能性

教養教育・評価・実践

寺崎昌男著

ISBN 4-88713-456-8 C3037 [2002] 四六・320頁・2500円

究極の目標は全学生の学力保障—教養教育刷新を軸に現代大学教育の課題を問う時論集第3弾。

【主要目次】1. 教養教育の課題(授業改革の方略と実践「低年次教育」考、他) 2. 歴史の中で大学の今を考える(改革課題 基準とアカデミック・フリーダム 大学文書館と大学史研究、他) 3. 大学教育の現場から(教師教育・教職課程の教育と大学改革 大学生の「学力」について、ほか)

大学教育の創造

歴史・システム・カリキュラム

寺崎昌男著

ISBN 4-88713-319-7 C3037 [1999] 四六・336頁・2500円

今こそ自らの大学を「わがこと」として見つめ直そう。歴史と体験を踏まえた大学教育改革への途。

【主要目次】プロローグ 1. 教養教育とカリキュラム改革 2. カリキュラム改革に参加して—立教大学における全学共通カリキュラム計画の体験 3. 歴史の中の大学教育・教師・学位制度 4. 大学図書館と研究所

大学の自己変革とオートノミー

点検から創造へ

寺崎昌男著

ISBN 4-88713-305-7 C3037 [1998] 四六・320頁・2500円

歴史的識見こそ真の改革の鍵—大学の自律性—自治を根拠に、根本的変革の理念と方途を明示。

【主要目次】I 大学の今を考える：1. 大学改革と教師の役割、他1章 II 自己点検と評価：1. 大学評価の可能性を問う、他2章 III 大学改革の歴史座標：1. 戦後の大学制度と大学院、他2章 IV 政府と大学自治：1. 日本における「大学の自治」の観念、他3章 V 教員任期制を考える(2章)

大学教育 改革と研究の30年

大学教育学会の視点から

大学教育学会30周年記念誌編集委員会編

ISBN 978-4-7989-0000-1 C3037 [2010] 四六・272頁・2000円

社会と個別大学を繋ぐ全国的学力組織として、理念と実践両面から重要課題に肉迫した教育改革論集。

〔主要目次〕第1部 学会における課題研究の取組み (1. 課題研究—大学における教養教育の評価／認証の基礎に関する研究 ほか) 第2部 支部活動報告 第3部 学会の記録 (I 大会・課題研究集会一覧 II 役員一覧 III 歴代会長・副会長・事務局長・事務局一覧 IV 年表 V 学会奨励賞等受賞者・対象論文一覧)

あたらしい教養教育をめざして

大学教育学会25年の歩み 未来への提言

大学教育学会25年史編集委員会編

ISBN 4-88713-586-6 C3037 [2004] 四六・544頁・2900円

教養教育の軽視・解体は大学の根本責務の放棄だ。学会の総力を挙げ新時代の教養教育の確立へ。

〔主要目次〕第1部 大学教育学会二五年の歩み (一般教育学会の歩み 学会設立後のさまざまな活動 一般教育学会から大学教育学会へ) 第2部 新しい教養教育の構築と未来への提言 (大学が直面している問題 教養教育の実践と課題 (授業研究) 大学と社会の問題) 第3部 座談会「新しい教養教育をめざして」 資料編

転換期を読み解く

潮木守一時評・書評集

潮木守一著

ISBN 978-4-88713-952-7 C3037 [2009] 四六・432頁・2600円

独自の視点から展開する時事的エッセイ及び50点に及ぶ的確な書評は今日教育界への適切な指針。

〔主要目次〕まえがき 第一部 時の流れを聞く—時評集 第二部 先人達の道程 (古典は語る) 第三部 変わる時代を読む—書評集 あとがき

フンボルト理念の終焉？

現代大学の新次元

潮木守一著

ISBN 978-4-88713-804-9 C3037 [2008] 四六・272頁・2500円

世界を席卷した理念の実相を、その原意、現実化の実態、影響等、実証的に検証・解明した力作。

〔主要目次〕1章 学長フィヒテの運命 2章 フンボルト型の大学とは？ 3章 学生は何を体験したのか 4章 教師はどうして選ばれたのか 5章 アメリカへのドイツ・モデルの移植 6章 日本へのドイツ・モデルの移植 7章 なぜドイツの大学は凋落したのか 8章 フンボルト理念の終焉？

大学再生への具体像

潮木守一著

ISBN 4-88713-690-0 C3037 [2006] 四六・272頁・2500円

全大学共通の各科目資格認定試験の提案はじめ19の具体的提言に結晶した著者の豊富な改革体験。

〔主要目次〕1 国立大学はどう変わろうとしたのか (国立大学での改革経験 ともに抱いた危機意識 ほか) 2 私立大学はどう変わろうとしたのか (私立大学での新学部創設 参加型学習の可能性 ほか) 3 大学を変えるにはどうしたらよいのか (大学改革を取り巻く環境 改革の抵抗勢力 ほか) 4 具体的な改革項目—提言

改めて「大学制度とは何か」を問う

館昭著

ISBN 4-88713-758-5 C3037 [2007] 四六・128頁・1000円

制度本来の意味への認識を欠く改革は無意味だ—今日の課題を踏まえ制度の在り方を的確に論究。

〔主要目次〕1. そもそも「学位」とは 2. そもそも「大学院」とは 3. そもそも「教員組織」とは 4. そもそも「教育研究組織」とは 5. そもそも「単位制度」とは 6. そもそも「学生」とは 補論 認証評価制度について考える

原点に立ち返っての大学改革

館昭著

ISBN 4-88713-686-2 C3037 [2006] 四六・80頁・1000円

原点を見ずして改革なし！国際的共通理解のもと大学の機能と責務を考察した基底的ブックレット。

〔主要目次〕1. リベラル・アーツと教養 2. プロフェッショナル・スクールと専門職大学院 3. ディシプリンと専門 4. インターディシプリナリーと学際 5. リサーチと研究 6. パブリック・サービスと社会貢献 7. ディグリーと学位

転換期日本の大学改革

アメリカとの比較

江原武一著

ISBN 978-4-88713-968-8 C3037 [2010] A 5・328頁・3600 円

多様に展開されたこれまでの改革を総括するとともに、今後の日本型改革の在り方と課題を詳細に論考。

〔主要目次〕 1. 転換期の大学改革 2. 大学教員のみた日米の大学 (1) 3. 大学教員のみた日米の大学 (2) 4. 大学教育の改革 5. 学部教育の改革 6. 大学院教育の改革 7. 管理運営の改革 8. 大学評価の効用 終章 日本型大学改革のゆくえ

韓国大学改革のダイナミズム

ワールドクラス (WC U) への挑戦

馬越徹著

ISBN 978-4-88713-986-2 C3037 [2010] 四六・304頁・2700 円

今や日本を超える速度と先進性―著者の現地体験を通じ具体的に紹介・考察されたその全貌と特性。

〔主要目次〕 序章 内側からみた SNU 1. 新世紀の大学改革 2. ユニバーサル・アクセス時代の大学構造改革 3. 大学改革と高等教育財政 4. 「世界水準」の大学育成戦略 5. 地方大学の活性化戦略 6. 国立大学の構造調整 7. 私立大学のガバナンス改革 8. 専門大学の挑戦 9. 大学全入時代の入試改革 ほか

韓国の才能教育制度

その構造と機能

石川裕之著

ISBN 978-4-7989-0045-2 C3037 [2011] A 5・368頁・3800 円

広範な調査の下、同国の独自性への目配りも含め韓国才能教育制度の全貌を追及・考察した労作。

〔主要目次〕 序章 研究の目的と課題 1. 一般学校教育制度の構造と選抜システム 2. 才能教育制度の登場と初期の選抜システム 3. 才能教育制度の量的拡大と構造変容 4. 新たな才能教育制度の構築 5. 新たな才能教育機関の運営実態と選抜システムの複合化 6. アクセラレーションが果たす機能 終章

大学教育の思想

学士課程教育のデザイン

絹川正吉著

ISBN 4-88713-712-5 C3037 [2006] A 5・272頁・2800 円

元ICU学長が、自らの体験に立脚し確固たる教育思想に基づく大学改革の理論と方策を集大成。

〔主要目次〕 1 これからの大学教育 (日本の大学はどうなるか 「21世紀の大学像」の構図 ほか) 2 「一般教育」は死語か (一般教育の発想 ほか) 3 学士課程教育を発想する (リベラルアーツ教育の意味と実践 ほか) 4 学士課程教育の舞台を作る (カリキュラム開発の視点 シラバス ほか) 5 どうする大学教員 (大学教員評価の視点 ほか)

大学の責務

D. ケネディ著 立川明・坂本辰朗・井上比呂子訳

ISBN 978-4-88713-849-0 C3037 [2008] A 5・424頁・3800 円

米大学が先行直面した諸問題を追究した本書は、まさに現在の日本の大学への具体的な指針である。

〔主要目次〕 1. 大学の自由、大学の責務 2. 準備する 3. 教えること 4. 研究指導すること 5. 大学に貢献すること 6. 発見すること 7. 公表すること 8. 真実を告げること 9. 壁を越えた向こうへ 10. 変革のために

戦後日本産業界の大学教育要求

経済団体の教育言説と現代の教養論

飯吉弘子著

ISBN 978-4-88713-819-3 C3037 [2008] A 5・456頁・5400 円

その多量・多様な要求を教育学的に整理し、産学間の建設的な議論を促す、いま不可欠な労作。

〔主要目次〕 序章 研究の枠組み 1. 時代区分および改革要求の背景と概観 2. 教養概念・教養教育について 3. 能力観と求める能力・人材像 4. 個性化・多様化と国際化 5. 創造性と創造的人材育成 終章 結論―産業界要求の特色・変化とその要因および大学教育の意味 補論

大学改革の現在

「21世紀の大学・高等教育を考える」第1巻

有本章・山本真一編著

ISBN 4-88713-501-7 C3037 [2003] A 5・352 頁・3200 円

講座第1巻として、大学改革の現状、問題点、課題に総論的に取り組み、在るべき改革への展望を拓く。

〔主要目次〕第1部 大学改革の本質と方向(大学改革の論理 ほか) 第2部 大学改革への要請と期待(競争原理と大学改革 企業と大学改革 ほか) 第3部 教育と研究の改革(学士課程教育改革の現在) 第4部 全国調査からみた大学改革の現状(大学改革の実態とその特徴 大学改革の諸相 ほか)

大学評価の展開

「21世紀の大学・高等教育を考える」第2巻

山野井敦徳・清水一彦編著

ISBN 4-88713-526-2 C3037 [2004] A 5・304 頁・3200 円

教職員の業績評価から報償体系の確立へと、「機能する」大学評価の理論と方法を徹底追及した、講座第2巻。

〔主要目次〕第1部 大学評価の原理と有効性(大学評価の理論と方法 大学評価の体系) 第2部 大学評価の実際(教育の評価-教育評価の理論と実践 学生の成績評価と単位認定 研究の評価-研究評価の理論と実践 ほか) 第3部 大学評価をめぐる諸問題(大学自治と大学評価 報償体系と大学評価 ほか)

学士課程教育の改革

講座「21世紀の大学・高等教育を考える」第3巻

絹川正吉・館昭編著

ISBN 4-88713-536-X C3037 [2004] A 5・352 頁・3200 円

その充実なくしては全ては絵に画いた餅だ！改革の根幹・学士課程教育に原点からの変革を促す講座第3巻。

〔主要目次〕第1部 基本的な視座を獲得する(学士課程教育構想の課題 教養教育論の視点 ほか) 第2部 社会との関係で考える(変貌する学生 学士課程カリキュラムの改革動向-学問と社会変動 ほか) 第3部 改革を推進する(初年次支援プログラムの構築とフレッシュマン・セミナー ほか)

大学院の改革

講座「21世紀の大学・高等教育を考える」第4巻

江原武一・馬越徹編著

ISBN 4-88713-539-4 C3037 [2005] A 5・304 頁・3200 円

世界からの立遅れは今や明白だ。行政主導を超え内部からグランドデザイン構築へ。講座完結編。

〔主要目次〕第1部 大学院改革の理論と実際(大学院改革の論理 拡大する大学院 大学院重点化政策の功罪 政府の資源配分と大学院 研究評価と大学院 ほか) 第2部 各国の大学院改革(アメリカの大学院 イギリスの大学院 ドイツの大学院段階の教育 韓国の大学院 中国の大学院 日本の大学院改革の将来)

大学教育の臨床的研究

田中毎実著

臨床的人間形成論第1部

ISBN 978-4-7989-0075-9 C3037 [2011] A 5・272 頁・2800 円

長年にわたり行われた公開実験授業等の検討を通じ学生と教員に相互自己生成をもたらす教育実践へ。

〔主要目次〕1. 大学教育の臨床的研究へ 2. 大学教育の臨床的研究 (1) ー公開実験授業と相互性のネットワーク 3. 大学教育の臨床的研究 (2) ー情報メディア利用・遠隔教育、相互生成 4. 大学教育の臨床的研究 (3) ー教える人たちの相互生成としてのFD 5. 大学教育の現在と大学教育の臨床的研究

大学教育のネットワークを創る

F D の明日へ

京都大学高等教育研究開発推進センター編 編集代表：松下佳代

ISBN 978-4-7989-0043-8 C3037 [2011] A 5・248 頁・3200 円

大学教員相互の協働により教育改善を進める相互研修型FDの理念と実践を具体的に紹介・考察。

〔主要目次〕第1部 FDの理念を問直す 第2部 FD ネットワークの形成 第3部 FD におけるテクノロジー利用 第4部 誰が、何のためにFD を行うのか

大学授業研究の構想

過去から未来へ

京都大学高等教育教授システム開発センター編

ISBN 4-88713-423-1 C3037 [2002] A 5・256 頁・2400 円

名人芸から方法論的自覚へー6年間の公開実験授業の体験に基づく理論と実証による新大学授業論。

〔主要目次〕1部 大学授業研究の過去 2部 大学授業研究の現在(学生の理解の枠組みをふまえた授業展開 教授者はどのようにストレッサーに対処しているのか 「考える」力の育成をめざした授業の構造 大学教育への映像メディアの活用) 3部 大学授業研究の未来

アクティブラーニングでなぜ学生が成長するのか

経済系・工学系の全国大学調査からみえてきたこと

河合塾編著

ISBN 978-4-7989-0068-1 C3037 [2011] A 5・344頁・2800円

学習者中心の大学教育の手法は？関係者必読の調査結果と提言から浮かび上がる大学の具体的な未来像。

【主要目次】第1部 河合塾からの「大学のアクティブラーニング」調査報告 第2部 大学事例報告と質疑応答 第3部 アクティブラーニングの豊富化のための問題提起 資料：アンケート（質問紙）調査票／質問紙調査による大学・学部・学科別データ

初年次教育でなぜ学生が成長するのか

全国大学調査から見えてきたこと

河合塾編著

ISBN 978-4-7989-0003-2 C3037 [2010] A 5・352頁・2800円

暗記型教育から能動的学習へ—全国調査が明示したその転換を導く初年次教育の必要性和有効性。

【主要目次】第1部 河合塾からの初年次教育調査報告 第2部 大学からの先進的初年次教育の事例報告と質疑応答 第3部 初年次教育のこれからを考える問題提起 巻末資料—1096学部の調査結果一覧

大学教育を科学する

学生の教育評価の国際比較

山田礼子編

ISBN 978-4-88713-898-9 C3037 [2009] A 5・320頁・3600円

教育刷新のため学生を知ろう—新たな日米学力調査等を詳細に分析・考察した貴重な研究。

【主要目次】第1部 理論編 (1. アセスメントの理論と実践) 第2部 学生調査編 (1. 日本版学生調査による大学間比較 2. 入学後の経験と教育効果の学生間比較 3. 大学教育のジェンダー効果 4. 学生と就職・キャリア ほか) 第3部 諸外国編 (1. アメリカの高等教育機関におけるIR部門の役割と事例 ほか)

一年次(導入)教育の日米比較

山田礼子著

ISBN 4-88713-635-8 C3037 [2005] A 5・256頁・2800円

ユニバーサル化時代の大学における必須の課題を日米での実地調査に基づき具体的に追求・考察。

【主要目次】1. 一年次(導入)教育の起源と学生の変化 2. サウスカロライナ州とノースカロライナ州の事例 3. アメリカにおけるアセスメントの実際 4. アメリカの一年次(導入)教育の実際 5. アメリカの一年次(導入)教育の構造-2002年度調査から 6. 日本における一年次(導入)教育

ポートフォリオが日本の大学を変える

ティーチング／ラーニング／アカデミックポートフォリオの活用

土持ゲーリー法一著

ISBN 978-4-7989-0062-9 C3037 [2011] A 5・272頁・2500円

三つのポートフォリオの総合的活用により大学の学生・教師の学習と教授は抜本的に刷新される。

【主要目次】1. 学生による授業コンサルティング 2. ティーチングのスクラシッパ 3. ティーチング・ポートフォリオにおけるメンタリングの役割と作成方法 4. ティーチング・フィロソフィー(授業哲学)のためのルーブリック 5. ラーニング・ポートフォリオを活用した学生の学習向上と能動的学習の実践 ほか

ラーニング・ポートフォリオ

学習改善の秘訣

土持ゲーリー法一著

ISBN 978-4-88713-912-1 C3037 [2009] A 5・272頁・2500円

それは学習改善に超有効だ—この自らの学習省察記録作成・活用のすべてを具体的に紹介・考察。

【主要目次】1. FD 義務化 2. FD の世界的動向 3. ティーチング・ドシエー(ポートフォリオ)の役割 4. エデュケーション・デベロップメント国際コンソーシアム 5. 日本におけるティーチング・ポートフォリオ 6. リベラルアーツ・カレッジ 7. 授業を「創る」 8. ラーニング・ポートフォリオ 終章 資料：ラーニング・ポートフォリオ学生サンプル

ティーチング・ポートフォリオ

授業改善の秘訣

土持ゲーリー法一著

ISBN 4-88713-759-2 C3037 [2007] A 5・208頁・2000円

これこそ大学の授業改善に不可欠だ。授業実践記録に教員の省察を加えたこの書類活用の全て。

【主要目次】序章 1章 授業シラバスの見直し 2章 授業シラバスの書き直し 3章 能動的学習 4章 授業改善への取り組み 5章 ティーチング・ポートフォリオ

津軽学—歴史と文化

土持ゲーリー法一編著

ISBN 978-4-88713-913-8 C3037 [2009] A 5・192頁・2000円

ユニークな地域学授業として反響を呼んだ弘前大学の新カリキュラムを、初めて紙上で全容公開。

〔主要目次〕Ⅰ 弘前ねぶた絵の歴史 Ⅱ 津軽三味線の歴史と実演 Ⅲ 津軽塗の文化と歴史 Ⅳ 石坂洋次郎『青い山脈』 Ⅴ 旧制弘前高等学校の太宰治 Ⅵ 津軽方言詩 Ⅶ 寺山修司の世界 Ⅷ 現在活躍中の文学者 Ⅸ 弘前藩の歴史と文化 他3章 高木恭造没後20年記念全34編朗読『まるめろ』in 津軽

新版 理工系学生のための日本語表現法

大学における初年次教育

森下稔・鴨川明子編

ISBN 978-4-7989-0015-5 C3037 [2010] A 5・112頁・1300円

理工系の学生が、授業・発表等で必要とされる日本語表現の技術を学習できる新テキスト。

〔主要目次〕1. わかりやすい文を書く 2. 要約文を書く 3. 手順の説明文を書く 4. データの説明文を書く 5. 主張文を書く 6. プレゼンテーションをしよう 補章 引用のルールを知ろう

大学における書く力考える力

認知心理学の知見をもとに

井下千似子著

ISBN 978-4-88713-863-6 C3037 [2008] A 5・280頁・3200円

認知心理学の知見と授業実戦経験を通じて練られた、新たな「書く力考える力」育成の理論と方法。

〔主要目次〕1. 書く力考える力を育む学士課程教育のデザインに向けて 理論編 2. 文章表現に関連する教育と研究方法の問題 3. 学士課程教育における文章表現教育の意味と位置 4. 基礎研究から教育のねらいを定める 5. 学習環境をデザインする 実践編 6. 考えるプロセスを支援する 7. 議論することを支援する ほか

教育哲学

宇佐美寛著

ISBN 978-4-7989-0081-0 C3037 [2011] 四六・304頁・2400円

外国思想の「祖述」でなく、自力で教育における不合理を分析、批判する真の教育哲学像を提示。

〔主要目次〕はじめに 1. 「教育哲学」の現在 2. 教育思想とは何か 3. 教育哲学とは何か 4. 教育哲学の方法 5. ある大学院生を指導する 6. 講演記録「研究の論理」 結論〈教育哲学〉の位置

大学授業入門

宇佐美寛著

ISBN 4-88713-729-5 C3037 [2007] 四六・192頁・1600円

講義を排し全ての瞬間で学生の学習活動を要求する授業を一発展する画期的大学授業論。

〔主要目次〕1. 授業思想 2. 講義をやめよう 3. 授業内容とは疑問文の集積である 4. 概念をその「表れ」で把握させよ 5. 授業が規律を要求する 6. 授業計画の諸要件—作文指導を例として 7. 読書 8. 指示・発問

授業研究の病理

宇佐美寛著

ISBN 4-88713-618-8 C3037 [2005] A 5・192頁・2500円

具体例を使った概念分析を一大学人特有の抽象病に毒された授業研究は、逆に授業を劣悪にする。

〔主要目次〕1. 教育学者の読み書き能力 2. 概念分析を教える授業 3. 拙著『大学の授業』の書評に対する代案 4. 色づけ 5. さまざまな不整合 6. 講義・「何でも帳」・私語 7. 授業思想

大学授業の病理

FD批判

宇佐美寛著

ISBN 4-88713-563-7 C3037 [2004] A 5・256頁・2500円

読み書き能力こそ学力の中核だ。学生の学習活動を中心に置く授業への「コペルニクス的」方向転換。

〔主要目次〕1. 講義をやめよう 2. 私語の病原は「講義」である 3. 授業設計の原理—前章の授業方法は何を意味するか 4. ルール・規律・礼儀 5. スローガンを排す 6. 「学生による授業評価」の概念分析 7. 他の教員による授業批判 8. 私の「代案授業」 9. 学生側での「解釈内容」の論理 10. 大学の概括病・抽象病

大学の授業

宇佐美寛著

ISBN 4-88713-344-8 C3037 [1999] A 5・256頁・2500円

学生の思考・表現能力を鍛え続けよう―著者が実践する白熱の授業の全貌が、いま具体的に明かされる。

【主要目次】1.「大学生の言語能力」 2.「学生は読んでいない」 3.定刻と遅刻 4.おじぎ・着席・受講票 5.講義をやめよう 6.「貴族の義務」(noblesse oblige) 7.レポートを課す 8.レポートの評価と指導 9.「課題図書」 10.試験 第11章 学生の感想 第12章「授業」に関わる大学運営

作文の論理

(わかる文章)の仕組み

宇佐美寛編著

ISBN 4-88713-308-1 C3037 [1998] 四六・224頁・1900円

実例の緻密な分析により、誰もが納得できる「わかる文章」の書き方を論理的に示した文章術指南書。

【主要目次】Ⅰ部 わかる文章の書き方(前おきはやめよう、要約は危険である、人間を追放せよ、すじ違いの比喻、段落の切り方、強い明確な語句、等12章) Ⅱ部「Critical Thinking」とは何か」という文章 Ⅲ部「読者に合わせて書く」という文章

作文の教育

(教養教育)批判

宇佐美寛著

シリーズ大学の授業実践1

ISBN 978-4-88713-966-4 C3037 [2010] A 5・168頁・2000円

読み書きの力を育てつつ行う専門教育こそ今日の大学に不可欠だ―最も具体的な大学授業実践報告。

【主要目次】はじめに 序論 1.講義をやめよう 2.作文はコミュニケーションである 3.形式主義の作文―コミュニケーション離れ 4.〈教養教育〉批判シリーズ「大学の授業実践」監修の志

視写の教育

(からだ)に読み書きさせる

池田久美子著

シリーズ大学の授業実践3

ISBN 978-4-7989-0092-6 C3037 [2011] A 5・240頁・2400円

他人の文章を書き写すという地道な作業がもたらす効果―実践が明かす読み書き能力の確かな伸長。

【主要目次】序論 なぜ視写を課したのか 1.読み書き教育は体育である 2.〈筆触〉とマス目 3.写し間違いは思考を刺激する 4.「私ならこう書く」―学生的主張 5.異同の意識 6.〈からだ〉の鍛え方―早稲田大学「学術的文章の作成」授業と比較する 補遺 「書く」っていいなあ

問題形式で考えさせる

大田邦郎著

シリーズ大学の授業実践2

ISBN 978-4-7989-0033-9 C3337 [2011] A 5・168頁・2000円

学生の学習活動を全開に導く、どの授業にも応用できる「問答式」授業づくりの全てを一冊に凝集。

【主要目次】序章 私語のない授業をつくる 1.『学問のすゝめ』の冒頭の一文は 2.明治初期の教育の目的は 3.小学校の数は何倍に増えたか 4.人々は学校を歓迎したか 5.国語と算数のどちらが先にできたか 6.教育勅語の目的はなにか 7.『読本』の教科書でなにを教えるか 8.教科書を使わずに教える教科は ほか

あなたの未来を拓く通信制大学院

日本大学大学院・宮本ゼミの12年のドキュメント

宮本晃著

ISBN 978-4-7989-0077-3 C3037 [2011] 四六・208頁・1800円

働きながら「いつでも」「どこでも」可能な新たな自己開発システム―通信制大学院の実際を全開。

【主要目次】はじめに 1.大学院開設の経緯 2.十二年間の推移 3.ゼミの紹介 4.大学院受験の手引き 5.新しい通信教育 付録1大学院のメリット 付録2通信制大学院の一覧

経験と知の再構成

社会人のための社会科学系大学院のスズメ

東洋大学福祉社会システム専攻出版委員会編

ISBN 978-4-7989-0057-5 C3037 [2011] 四六・168頁・1400円

日本初の社会学・社会福祉系夜間大学院での経験から、社会人に向け大学院での最良の学び方を指南。

【主要目次】第1部 社会人のための大学院入門(Ⅰ「研究」についての認識を新たにする Ⅱ 社会人の大学院生活 ほか) 第2部 いかに研究するか(Ⅰ論文の基本構造 Ⅱ 論文の作法 Ⅲ先行研究等の集め方、読み方 Ⅳ「現場」と大学院の往還 ほか) 付録 指導教員とのコミュニケーションと指導の受け方

航行を始めた専門職大学院

吉田文・橋本鉈市著

ISBN 978-4-88713-960-2 C3037 [2010] A 5・192頁・2600円

高等教育質保証の国際比較

羽田貴史・米澤純純・杉本和弘編著

ISBN 978-4-88713-948-0 C3037 [2009] A 5・328頁・3600円

アメリカの研究大学・大学院

大学と社会の社会学的研究

矢澤修次郎・伊藤毅編著

ISBN 978-4-88713-813-1 C3037 [2008] A 5・224頁・2500円

日本のティーチング・アシスタント制度

大学教育の改善と人的資源の活用

北野秋男編著

ISBN 4-88713-684-6 C3037 [2006] A 5・224頁・2800円

模索されるeラーニング

事例と調査データにみる大学の未来

吉田文・田口真奈編著

ISBN 4-88713-609-9 C3037 [2005] A 5・320頁・3600円

現代アメリカのコミュニティ・カレッジ

その実像と変革の軌跡

宇佐見忠雄著

ISBN 4-88713-709-5 C3037 [2006] 四六・240頁・2381円

短大からコミュニティ・カレッジへ

飛躍する世界の短期高等教育と日本の課題

館昭編

ISBN 4-88713-432-0 C3037 [2002] 四六・240頁・2500円

今日のわが国専門大学院の脆弱性抽出と共に現況打破を目指すユニークな実例を多数紹介・分析。

【主要目次】 1. 本書の目的と分析の視点 2. 進水までの工程—政策と制度 3. 甲板上の乗組員—学生と教員 4. それぞれの舵取り 5. 次の港に到着するまで—課題と展望

今日の高等教育最大の課題に関し諸国の調査と国際比較を通じ日本の問題点と改革方途を追う。

【主要目次】 序章 質保証に関する状況と課題 1. 日本における高等教育の質保証の歴史と課題 2. 日本における評価制度の実現 3. 中国における高等教育の質保証 4. 中国におけるトランスナショナル学位プログラムの質保証 5. ヨーロッパにおける高等教育の質保証 6. ドイツにおける高等教育の質保証 他6章

先行する米大学院の現状と歴史の分析を通じ日本が直面する課題の行手を照射する、画期的共同研究。

【主要目次】 序章 問題の構造と文脈 1. 研究対象の決定とアメリカ高等教育機関のランキング 2. 調査結果の概要 3. アメリカ研究大学・大学院の全体的傾向と特徴 4. アメリカ研究大学・大学院の歴史的形成 5. 古典社会学とアメリカ社会学 6. 社会と社会学 7. アメリカにおける「社会学の制度化」とその日本におけるインプリケーション

初の実態調査を通じ、その必要性がますます高まるTAの理論・方法・課題を徹底追求した労作。

【主要目次】 序章 本書の構成と先行研究 1. 大学教育の改革と教養主義の崩壊 2. 大学生の学力低下と大学改革 3. 大学の教育改善とFD活動 4. 我が国のTA制度の現状と課題 5. TA制度の運用システムの事例研究 6. TA制度導入による授業改善の実践例 7. 教員・TA・受講学生から見たTA制度の問題点 ほか

ITは大学をどう変えるか。13の事例と各年調査に基づく、IT利用に関する初の総合的・実証的研究。

【主要目次】 第1部 わが国における高等教育とITをめぐる動向(政策主導による「遠隔授業」の制度化 高等教育機関におけるITの利用状況 ほか) 第2部 事例に見る新しい展開(知のコーディネート インターネット市民講座のバイオニア-大阪市立大学 ほか) 第3部 ITは大学の何を変えるのか(変容の可能性と限界 日本型IT利用の模索へ)

独自の発展を遂げた米国の短期高等教育の担い手の実像を、最近の変革を中心に紹介・考察する。

【主要目次】 1. コミュニティ・カレッジの変革の一世紀 2. 教師不足に対応した教師養成教育 3. サービス・ラーニングの実践と課題 4. 補習教育の新たな試み 5. 財政危機の中のコミュニティ・カレッジの活性化政策 6. コミュニティ・カレッジのパラダイム転換 7. コミュニティ・カレッジの課題と挑戦 8. コミュニティ・カレッジの近未来像

ますます重要性を加える世界の短期高等教育の実態調査の下日本の現状に対し抜本的改革を促す。

【主要目次】 序章 飛躍する世界の短期高等教育と日本の課題 1. イギリスの短期高等教育の拡大と強化策 2. アメリカ高等教育システムのなかでの私立短期大学 6. カナダの高等教育とオンタリオ州のカレッジ 8. ドイツの専門大学と短期高等教育 9. フランスの短期高等教育 他4章 結章 短大からコミュニティ・カレッジへ

大学院教育の研究

バートン・クラーク編著 潮木守一監訳

ISBN 4-88713-271-9 C3037 [1999] A 5・544頁・5600円

固有の歴史と特徴を持つ独、英、仏、米、日の大学院の実態を定評ある研究者が精細に比較論考。

【主要目次】序章（クラーク）Ⅰ部 ドイツ（2章：C. ジェレット）Ⅱ部 イギリス（2章：M. ヘンケル／M. コーガン／T. ビーチャー）Ⅲ部 フランス（2章：G. ニュープ／R. エーデルシュタイン）Ⅳ部 アメリカ（2章：P. J. ガンボート）Ⅴ部 日本（2章：潮木守一／川嶋太津夫／丸山文裕）結論（クラーク）

夜間大学院

社会人の自己再構築

新堀通也編

ISBN 4-88713-340-5 C3037 [1999] A 5・288頁・3200円

現状・問題点を総括し、多くの社会人学生の手記分析を基に、現代におけるその存在意義を力説。

【主要目次】1部 研究の概要（研究の意義 夜間大学院の現状）2部 夜間大学院の特徴－昼夜開講制との比較（夜間大学院への要請 夜間大学院の制度的特徴 社会人大学院としての実態 ほか）3部 「自分史」による夜間大学院評価－事例研究（本大学院の特徴 志願者と入学者 「自分史」の分析 ほか）

大学教授職とFD

アメリカと日本

有本章著

ISBN 4-88713-597-1 C3036 [2005] A 5・304頁・3200円

現代大学の多様な目標達成のため、FD＝教授職の資質開発の制度化・活性化をめざす力作論考。

【主要目次】序章 「大学教授職とFDの研究」Ⅰ部 大学教授職とFD（大学教授職の国際比較 FDの構造と機能）2部 アメリカのFD（アメリカにおけるFD活動の動向 諸外国とアメリカにおけるFDの制度化）3部 日本におけるFDの制度化（FD制度化の開始と展開 FDの制度化と葛藤の類型）終章 高等教育改革と大学教授職

大学教授の職業倫理

別府昭郎著

ISBN 4-88713-613-7 C3037 [2005] 四六・224頁・2381円

大学史と自らの体験を踏まえて描ききる、今大学教授に求められる新たな教育力と職務対応能力。

【主要目次】はじめに 何が問題なのか 1. 大学および大学教授とは何か 2. 大学教授の選任・昇進・停年 3. 大学教育の効用 4. 大学教育の方法 5. 大学教授の精神構造と型（タイプ）6. 大学の意思決定システム 7. 大学教授の任務と求められる資質・能力と評価 8. 大学教授の養成システムの確立と大学教育学の構想 ほか

校長の資格・養成と大学院の役割

小島弘道編著

ISBN 4-88713-527-0 C3037 [2004] A 5・432頁・6800円

従来のOJT型を超え、新制度の下学校の自律化、活性化を担う人材育成へ。画期的な政策提言。

【主要目次】第1部 現代の学校経営改革と校長の力量 第2部 学校管理職の力量形成をめぐる歴史・現状・課題 第3部 これからの学校管理職に必要とされる力量 第4部 諸外国における学校管理職の力量形成のための制度と内容 第5部 政策提言－校長の資格・養成と大学院の役割

日本とドイツの教師教育改革

未来のための教師をどう育てるか

渡邊満・K. ノイマン編

ISBN 978-4-88713-978-7 C3037 [2010] A 5・352頁・3800円

教育現実の複雑化と高度化に対応しうる教師育成をめざす日独教師教育改革の最前線を紹介・考察。

【主要目次】第1部 ドイツと日本の教員養成制度の歴史的展開と今日的課題（1. ドイツにおける教員養成制度の展開 ほか）第2部 ドイツにおける教師教育改革（3. ドイツの学士 ほか）第3部 日本における教師教育改革（7. 日本の学部での教員養成の新しい動向 ほか）資料編

IT時代の教育プロ養成戦略

日本初のeラーニング専門家養成ネット大学院の挑戦

大森不二雄編

ISBN 978-4-88713-828-5 C3037 [2008] A 5・264頁・2600円

今日の急務、eラーニング・プロ養成に必要な理論・知識・スキルの全てを体系的に紹介・考察。

【主要目次】第1部 グローバル化するeラーニングと先進国のプロ養成戦略 第2部 日本のeラーニング普及の鍵を握るプロ養成 第3部 eラーニング・プロ養成ネット大学院の始動 第4部 eラーニング・プロのスキル体系：4つの1、高等教育の質保証と戦略的経営の先進事例をめざして

教員養成学の誕生

弘前大学教育学部の挑戦

遠藤孝夫・福島裕敏著

ISBN 978-4-88713-766-0 C3037 [2007] A 5・272頁・3200円

真に教員としての力量を向上させる「教員養成学」の理論とカリキュラムのアウトラインを紹介。

【主要目次】 教員養成学の誕生、第1部 教員養成学の理論・歴史 第2部 教員養成学に基づく教員養成の実践・検証

大学の指導法

学生の自己発見のために

児玉善仁・別府昭郎・川島啓二編

ISBN 4-88713-495-9 C3037 [2004] A 5・320頁・2800円

学力低下を嘆くだけの時代は終わった。学生が自ら学びに目覚める新たな指導法を多角的に考察・追求。

【主要目次】 第1部 指導法研究の歴史と現在（大学とは何であったか-中世大学の授業・試験・評価 指導法・評価法の歴史と現在 ほか） 第2部 学生の自己発見を促す指導法（大学生の学力と導入教育 大学の授業・経験に対する評価からの検討 ほか） 第3部 講演会の記録（教養教育の創造と課題 ほか）

現代大学教育論

学生・授業・実施組織

山内乾史著

ISBN 4-88713-570-X C3037 [2005] A 5・272頁・2800円

理論と体験を踏まえ、改革に不可欠な諸要因に洩れなく目配りした三位一体の大学教育論。

【主要目次】 第1部 学生論（高等教育の社会化機能-カレッジ・インパクト研究の批判的検討 高校生の進路選択の実態） 第2部 授業改善論（大学の授業とは何か?-改善の系譜 教養原論におけるビデオ学習の効果と問題点 ほか） 第3部 実施組織論（FD/SDの比較的考察 大学教育研究センターとは何か?）

大学教育とジェンダー

ジェンダーはアメリカの大学をどう変革したか

ホーン川島瑤子著

ISBN 4-88713-582-3 C3037 [2005] A 5・336頁・3600円

今や大学の全局面を変容させ、かつ社会全体の平等化の牽引力となった理論・活動・実態の全て。

【主要目次】 1. アメリカにおける高等教育とジェンダー-歴史的展望 2. 統計から見た「高等教育とジェンダー」 3. 高等教育とジェンダーをめぐる政策 4. 大学における女性学の発展 5. フェミニズムの「ジェンダーと教育」研究 6. 女子大学の動向 7. 理工系分野とジェンダー

大学教育の改革と教育学

カール・ノイマン著 小笠原道雄・坂越正樹監訳

ISBN 4-88713-603-X C3037 [2005] 四六・208頁・2600円

ドイツ教育改革にみる日本と共通の課題と問題点。社会的状況と本質的革新の矛盾と調和を論究。

【主要目次】 1. 知の生産、職業能力と教育 2. 大学における教授-学習法の革新 3. ドイツにおける大学教育改善の取り組み 4. 陶冶概念の再生と再構成-幼児期の教育学におけるモデルの展開 5. 自己同一性をもった主体とは 6. 学校は待つことをおぼえない 7. 精神科学的教育学、ナチズム、戦争への教育

新時代を切り拓く大学評価

日本とイギリス

秦由美子編著

ISBN 4-88713-598-X C3037 [2005] A 5・336頁・3600円

未来を拓く評価の在り方を求め、日英研究者が同一テーマの下、その全局面を厳しく対論、追及。

【主要目次】 イギリスにおける大学評価 日本における大学評価・大学改革と大学評価 イギリスの大学における研究評価-政策、過程、成果、そして課題 日本の大学における研究評価 教育「評価」をめぐるイギリスの文脈 大学「評価」をめぐる日本の文脈 イギリスにおける研究評価の問題点 ほか

大学評価と大学創造

大学自治論の再構築に向けて

細井克彦・林昭・千賀康利・佐藤春吉編

ISBN 4-88713-295-6 C3037 [1998] A 5・224頁・2500円

21世紀の大学はいかにあるべきか。大学評価の本格化を踏まえその抜本的革新-大学創造へ向け提言。

【主要目次】 序 大学創造の現代的課題 1部 大学自己評価と大学のあり方：1. 現代日本社会と新しい大学像の探究 2. 大学自治の現状と大学自己評価 3. 大学の教育活動と大学自己評価 Ⅱ部 文部省の大学行政の評価 6. 大学政策の評価と文部行政のあり方、他2章

日本の留学生政策の評価

佐藤由利子著

ISBN 978-4-88713-985-5 C3037 [2010] A 5・176頁・3400 円

元日本留学生多数の追跡調査を通じ、日本および送出国の「留学生効果」を実証的に検証・考察。

〔主要目次〕 1. 日本の留学生政策の評価研究の目的と枠組み 2. 日本と米国の留学生政策と留学生がもたらす経済便益の比較 3. インドネシアにおける日本の留学生政策の成果の分析 4. タイにおける日本の留学生政策の成果の分析 5. 国費留学生と私費留学生の比較 6. 留学生10 万人計画前後の比較 7. 日本留学の成果の促進・阻害要因に関する分析 ほか

近代日本海外留学の目的変容

文部省留学生の派遣実態について

辻直人著

ISBN 978-4-7989-0024-7 C3037 [2010] A 5・434頁・4800 円

「海外情報摂取」から「相互文化交流」へー戦前全文部省留学生の調査から留学政策変容の実態を解明。

〔主要目次〕 第1部 高等教育拡充問題と文部省留学生派遣 1. データベース分析による文部省留学生派遣の全体動向 2. 帝国大学からの文部省留学生選抜 3. 直轄学校からの文部省留学生選抜 第2部 外交関係の変化と留学 4. 日米教育関係の質的転換 5. 文部省留学生のアメリカ留学評価 文部省留学生一覧表ほか

反大学論と大学史研究

中野実の足跡

中野実研究会編

ISBN 4-88713-615-3 C3037 [2005] A 5・416頁・4600 円

70年代の激烈な反体制論と多くの師友の痛切な追悼文の狭間に煌めく、一大学史家の独自の軌跡。

〔主要目次〕 第1部 序（座談会・中野実の人と仕事 一九七〇年代の中野実） 第2部 一九七〇年代の「反大学」論・教育批判論（「反大学」論 書評による教育批判論・大学批判論 「かわら版」主要記事） 第3部 回想・追悼文集（中野実君のことー出会ったころ 人生のなかの出会い 見事な人生だった ほか）

大学史をつくる

沿革史編纂必携

寺崎昌男・別府昭郎・中野実編

ISBN 4-88713-294-8 C3037 [1999] A 5・464頁・5000 円

蓄積された知識と体験を結集したわが国初めての大学史編纂と文書館創設の手引き。全大学必備。

〔主要目次〕 I. 大学史編纂の動向：日本（3編） 外国（3編） II. 大学史編纂の体験を語る：私立（6編） 国立（4編） III. 大学文書館と創設への提言：展望（3編） 論稿（4編） 提言（私立：4編 国立：4編） IV. 外国の大学文書館（7編） V. 実践編：実践案内ー編纂のためのQ&A

大学史研究

歴史的視座を踏まえた大学問題の研究を推進する大学史研究会は、機関誌としての本誌とともに、すでに長期にわたって活動が続けているが、2008年、次号からの市販を予定し、小社が刊行を担当。24号より市販に踏み切り、一層の発展を期している。

大学史研究23号

〔特集〕蘭学・英学・仏蘭西学・独逸学・魯西亜学・漢語学事始

「大学史研究」編集委員会

ISBN 978-4-88713-871-1 C3037 [2008]

A 5・144頁・2000円

大学史研究24号

〔特集〕世界の大学改革伝統と革新

大学史研究会編

ISBN 978-4-7989-0027-8 C3037 [2010]

A 5・176頁・2000円

教育（大学経営・職員論）

国立大学法人の形成

大崎仁著

ISBN 978-4-7989-0082-7 C3037 [2011] 四六・256頁・2600円

市場原理と公共的責務の亀裂超克のため、わが国の法人化過程を詳細に検証し改善への視点を提示。

〔主要目次〕序章 国立大学法人とは何か 1.法人化前の管理体制と法人化論 2.独立行政法人制度の創設 3.国立大学独法化見送り 4.文部省の方向転換 5.法人化制度設計の開始 6.「構造改革」の衝撃 7.新しい国立大学法人像 8.国立大学法人法制定 9.新制度の実現化 10.目標管理の具体化 終章 改善の視点

国立大学・法人化の行方

自立と格差のはざまで

天野郁夫著

ISBN 978-4-88713-820-9 C3037 [2008] A5・368頁・3600円

一律法人化の後に残された数々の問題点を定点観測的調査と豊富な知見を通じ鋭く剔出した労作。

〔主要目次〕序章 国立大学論—格差構造と法人化 1.法人化への道 2.法人化前夜 3.法人化一年後の現実 4.法人化の進展と課題 5.大学院の行方 終章 国立大学と国家戦略

私立大学の経営と拡大・再編

両角亜希子著

ISBN 978-4-88713-969-5 C3037 [2010] A5・440頁・4200円

個別大学の財務データを通じその多様な経営戦略を分析。今後収斂の方向を予測した画期的研究。

〔主要目次〕序章 問題の所在と分析枠組み 1部 日本の私立大学の経営構造の概観 1.日本の私立大学の制度的枠組み 2.戦後の私立大学の経営行動の変容 3.私立大学の財務構造 2部 1980年代後半以降の私立大学の経営行動とその背景 4.1980年代後半以降の私立大学の経営行動 5.私立大学の拡大・再編戦略とその背景 終章

私立大学マネジメント

私立大学連盟編

ISBN 978-4-88713-909-1 C3037 [2009] A5・712頁・4700円

厳しさを増す環境下新たな展開に向け、直面する全局面にわたり各執筆者が専門知識を傾け詳論。

〔主要目次〕Ⅰ私立大学とは Ⅱ私立大学に関する基礎知識 Ⅲ私立大学の教育・研究事業と経営・財務業務の役割と課題

大学の管理運営改革

日本の行方と諸外国の動向

江原武一・杉本均編著

ISBN 4-88713-596-3 C3036 [2005] A5・304頁・3600円

大学経営陣はどう変わるべきか。改革遂行主体の在り方を全方位的に究明した初の本格的研究。

〔主要目次〕大学の管理運営改革の世界的動向（転換期の大学改革の背景 大学の未来像の予想 ほか） 第1部 日本の動向（国立大学法人化の射程 国立大学の法人化と日本の大学制度 ほか） 第2部 欧米諸国の動向（アメリカの大学における管理運営モデルの変遷 ほか） 第3部 アジア諸国の動向

大学の財政と経営

丸山文裕著

ISBN 978-4-88713-926-8 C3037 [2009] A5・248頁・3200円

財政停滞の中での質と機能の一層の強化—いま大学に求められるこの難問超克の方途を鋭意追究。

〔主要目次〕序章 高等教育における財政財務と経営管理の研究 第1部 大学の財政（1.高等教育への公財政支出 2.高等教育のファンディングと大学の授業料 ほか） 第2部 国立大学の法人化と授業料（5.国立大学法人化と私立大学 ほか） 第3部 大学の経営（8.私立大学の経営環境 ほか）

私立大学の経営と教育

丸山文裕著

ISBN 4-88713-440-1 C3037 [2002] A 5・256 頁・3600 円

少子化と慢性的不況の挾撃の中、私立大学は何をすべきか。広範的確な調査と分析のもと詳論。

〔主要目次〕序章 私学経営を取り巻く環境 第1部 私学の財政（日本における私立大学の成立 私学の資産分析 ほか） 第2部 大学教育の充実と効用（FD活動の背景と実践 学生による授業評価 ほか） 第3部 アメリカの経験（アメリカの奨学金制度 学生募集と奨学金） 終章 私大の経営と学費

大学戦略経営論

中長期計画の実質化によるマネジメント戦略

篠田道夫著

ISBN 978-4-7989-0016-2 C3037 [2010] A 5・360 頁・3400 円

多くの事例を通じ現場の目線で「戦略経営」の原理・手法・実践を追求した改革実質化への必読書。

〔主要目次〕序章 なぜ戦略経営がもてめられるか 1. 戦略経営構築の基本手法 2. 戦略的マネジメントの実践事例 3. 戦略経営の確立に向けて 4. 戦略経営を担う職員 終章 戦略経営の確立こそが大学の未来を切り開く

アメリカ大学管理運営職の養成

高野篤子著

ISBN 978-4-7989-0076-6 C3037 [2012] A 5・264 頁・3200 円

最新資料に基づきその実態と特徴を網羅した本格的な研究。日本の大学職員養成にも大きく示唆する。

〔主要目次〕1. 大学職員の専門職化 2. 大学管理運営職の専門性 3. 大学管理運営職の養成と高等教育プログラム 4. 高等教育プログラムの歴史的展開 5. 修士課程レベルの高等教育プログラム 6. 博士課程レベルの高等教育プログラム 7. 大学管理運営職の研修プログラム 他3章

大学行政政策論

職員がつくる教育と研究の新たな仕組み

立命館大学大学行政研究・研修センター 近森節子編

ISBN 978-4-7989-0035-3 C3037 [2011] A 5・288 頁・2300 円

今や職員にも必須の政策立案能力構築の成果として、教育研究分野にわたる政策論文8編を収録。

〔主要目次〕1. 理工系学部生の学習支援 2. 必修英語に「プラスα」する正課外英語プログラム 3. 理工系学部の総合的「学び支援システム」 4. 文学部学生の「社会人基礎力」の養成 5. APU 学生寮におけるリビング・ラーニングコミュニティ 6. 国際的に通用する人・社会博士学位取得 他2章

大学のイノベーション

経営学と企業改革から学んだこと

坂本和一著

ISBN 4-88713-740-0 C3037 [2007] 四六・320 頁・2600 円

長年の改革実践のなかに躍動する近代経営学―実践と研究の相互発展の姿をつぶさに描いた力作。

〔主要目次〕1. 大学組織にいかにして「イノベーション体質」を根づかせるか 2. 「イノベーション（改革）を継続できる組織」をいかに構築するか 3. 「組織文化の改革」をいかにすすめるか 4. 「組織の存続」はいかにして確保されるか 5. 「オンリーワン」をめざして 6. 「逆転の発想」がイノベーションを生む

30年後を展望する中規模大学

マネジメント・学習支援・連携

市川太一著

ISBN 4-88713-757-8 C3037 [2007] 四六・240 頁・2400 円

わが国大学の多くを占める中小規模大学改革の貴重な実践例。30年後を見据えた元学長の奮闘記。

〔主要目次〕1. 学習支援（全入時代における高校と大学の接続 ほか） 2. 大学マネジメント（学習を支援する大学 大学マネジメントの基本と手法 ほか） 3. 教育機関連携（多様な教育機関による連携 大学連携から小中高大連携へ 大学はなぜ地域で連携するのか）

大学行政論 I

川本八郎・近森節子編

ISBN 4-88713-651-X C3037 [2006] A 5・208 頁・2300 円

時代を生き抜く大学の創造・経験のための必須の諸課題を立命館大学の蓄積された経験を通じ鋭意追及。

〔主要目次〕1. 「リーダーの条件」 2. 立命館ダイナミズムの秘密 3. 転換期にある教学システム 4. 立命館大学政策の特徴と今後の可能性 5. 大学と進路・就職支援 6. 産官学連携論 7. 大学職員論 8. 教育と研究を支える財政政策

大学行政論Ⅱ

川本八郎・伊藤昇編

ISBN 4-88713-666-8 C3037 [2006] A 5・224頁・2300円

鍛えられたプロの行政力が不可欠である。大学行政論Ⅰよりさらに多角的に展開された姉妹編。

【主要目次】1. 教育・研究の国際戦略とアジア交流 2. 初等中等教育と高等教育 3. エクステンションセンターと大学教育 4. 立命館スポーツの到達点 5. 校友会の組織化 6. 寄付政策から教育研究ネットワーク政策へ 7. 立命館アジア太平洋大学 8. 「大学コンソーシアム京都」の実験 9. 大学の改革を支えるクレオテック 終章

政策立案の「技法」

職員による大学行政政策論集

伊藤昇編著

ISBN 978-4-88713-784-4 C3037 [2007] A 5・272頁・2300円

職員の政策立案能力が大学を変える！最先端をいく立命館が贈る幹部職員養成のためのテキスト。

【主要目次】総論（政策立案の「技法」） 大学行政政策論集（教育力強化の取組みを前進させるための新たな仕組みづくり 学部学生の海外派遣促進政策について 教員評価制度を通じたシラバス改善に向けた提言 学生活動の効果検証 ほか）

もうひとつの教養教育

職員による教育プログラムの開発

近森節子編著

ISBN 4-88713-722-6 C3037 [2007] A 5・256頁・2300円

転換教育・キャリア教育はじめ、大学職員の学生に注ぐ眼差しに培われたもうひとつの共通・総合教育実践。

【主要目次】1. ハイブリッド型教養教育をめざした「立命館プログラム」の創設 2. 高校生から大学生への転換を支援する「転換教育」プログラムの開発 3. キャリア教育科目にみる教職協働と産学連携 4. 教養教育課程における「キャリア形成科目」の位置づけとその効果に関する研究 5. 課外活動の教育的役割の検証 教職協働と産学連携 ほか

大学財政

世界の経験と中国の選択

呂煒編著 成瀬龍夫監訳

ISBN 4-88713-749-3 C3037 [2007] A 5・288頁・3400円

先進国、途上国含め世界各国の大学財政を精細に比較分析。中国高等教育発展の基盤をなす労作。

【主要目次】1. 高等教育財政の位置 2. 高等教育の財政支出体制の国際比較 3. 高等教育経費調達との国際比較 4. 高等教育のコスト補償メカニズムの国際比較 5. 発展途上国における高等教育財政の経験と示唆

スクールリーダーのための教育政策研究入門

F. C. ファウラー著 堀和郎監訳

ISBN 978-4-88713-865-0 C3037 [2008] A 5・456頁・4600円

教育政策の理解は現場の教育・学校運営にも不可欠だ。本書はその自律的研究のための格好の指針。

【主要目次】1. 政策 2. 権力と教育政策 3. 教育政策とその環境 4. 主要な教育政策アクター 5. 争点の定義と政策課題の設定 6. 政策の立案と決定 7. 政策の手段と費用対効果 8. 政策実施 9. 政策評価 10. アメリカ合衆国の教育政策 付録：政策研究の基本用語集

公設民営大学設立事情

高橋寛人編著

ISBN 4-88713-530-0 C3037 [2004] 四六・256頁・2800円

各自治体大学誘致当事者とのインタビューを通じ、その経緯と意義を詳論。初の公設民営大学物語。

【主要目次】1. 公設民営大学検討の視点（公設民営大学の設立事情 ほか） 2. 公設民営大学の設立事情（千歳科学技術大学 東北芸術工科大学 ほか） 3. 先駆的大学の苦闘（長野大学学長・井出嘉憲）（地域に根ざした「公設民営」大学の創設 挫折と新生 ほか） おわりに-地域と大学（学費と機会均等 ほか）

教育（各国の教育・教育開発）

現代アメリカにおける学力形成論の展開

スタンダードに基づくカリキュラムの設計

石井英真著

ISBN 978-4-7989-0040-7 C3037 [2011] A 5・392頁・4200円

「ゆとり」とも「詰込み」とも異なる、現場から発展しつつある学力形成論の新たな展開を詳述。

〔主要目次〕第1部 ブルーム・タキソノミーの開発とその後の展開 第2部 「改訂版タキソノミー」によるブルーム・タキソノミーの再構築 第3部 思考教授研究におけるタキソノミー研究の展開 第4部 教育目標・評価論の諸系譜とそれをめぐる論争点 補論 スタンダードに基づく教育改革の再定義に向けて

アメリカ公民教育におけるサービス・ラーニング

唐木清志著

ISBN 978-4-88713-967-1 C3037 [2010] A 5・384頁・4600円

社会貢献活動を単なる体験にとどめず、その後の市民としての成長を促す新教育方法を紹介。

〔主要目次〕序章 本研究の目的と方法 1. アメリカ公民教育におけるサービス・ラーニングの位置付け 2. サービス・ラーニング前史としての公民教育改革論議 3. サービス・ラーニングの確立と性格 4. サービス・ラーニングを成立させる3つの必要条件 5. サービス・ラーニングの実践分析 6. サービス・ラーニングの今日的意義 終章 本研究のまとめと今後の課題

現代アメリカの教育アセスメント行政の展開

マサチューセッツ州(MCASテスト)を中心に

北野秋男編著

ISBN 978-4-88713-947-3 C3037 [2009] A 5・400頁・4800円

生徒の学力評価を超え、教員評価、財政支援等にもで適用される米国テスト政策の実態を紹介・考察。

〔主要目次〕序章 アメリカのテスト政策に関する先行研究 第1部 連邦政府・州政府の学力向上政策 第2部 MCAS テストによる学力向上政策 第3部 NCLB 法制定後の学力向上政策 終章 マサチューセッツ州教育改革の評価

アメリカの現代教育改革

スタンダードとアカウントビリティの光と影

松尾知明著

ISBN 978-4-88713-954-1 C3037 [2010] A 5・256頁・2700円

一路「国家標準化」を追究してきた米国の教育戦略は変わるか？オバマ登場を機にその将来を展望。

〔主要目次〕Ⅰオバマ大統領の誕生とアメリカ教育改革のゆくえ(1.オバマ大統領の誕生と教育の転換期 ほか) Ⅱ新しい教育システムをめざしたスタンダード教育改革(3.国家戦略としての教育改革 ほか) Ⅲスタンダード教育改革の新たな展開と広がり(8.落ちこぼれをつくらないための初等中等教育法の成立 ほか)

現代アメリカ教育ハンドブック

アメリカ教育学会編

ISBN 978-7-7989-0017-9 C3037 [2010] B5・216頁・2800円

全世界に影響を及ぼしつつある現代米教育につき約120の重要項目を通じその全貌を俯瞰・考察。

〔主要目次〕項目：アメリカ大学日本校移民教育政策 オバマ・バイデン教育計画 カーネギー財団 学校評価 カリキュラムマネジメント 管理職養成・研修制度義務教育制度 教員評価 校長・副校長 才能教育 初年次教育 大学管理運営 連邦教育省ほか

オフィシャル・ノレッジ批判

保守復権の時代における民主主義教育

M. アップル著・野崎・井口・小暮・池田訳

ISBN 4-88713-728-8 C3037 [2007] A 5・320頁・3800円

教育に潜む公正を装う非民主的イデオロギーを鋭く剔出し、新たな対抗教育力の創造を促す書。

〔主要目次〕1.序-オフィシャル・ノレッジ(公的知識)をめぐるポリティックス 2.常識をめぐるポリティックス 3.文化のポリティックスと教科書 4.オフィシャル・ノレッジを規制する 5.腐になった視聴者の創造 6.とどのつまり誰のためのカリキュラムなのか? 7.「よお、元氣だぜ」 8.教育方法のポリティックスとコミュニティの形成 付論

カリキュラム・ポリティックス

現代の教育改革とナショナル・カリキュラム

M. アップル・J. ウィットィ・長尾彰夫共著

ISBN 4-88713-192-5 C3037 [1994] 四六・192頁・2000円

カリキュラムに秘められたイデオロギー的偏向を超え真の教育改革へ。批判的教育学の新たな成果。

〔主要目次〕 公的知識をめぐるポリティックス—ナショナル・カリキュラムの意味を問う イングランドとウェールズにおける教育改革の動向—それは果たしてポスト・モダン現象か 日本型ナショナル・カリキュラムの批判と分析—多様性と差異をめぐる

アメリカの才能教育

多様な学習ニーズに応える特別支援

松村暢隆著

ISBN 4-88713-514-9 C3036 [2003] 四六・240頁・2500円

年少者個々の「叫び」に応える教育を 米国才能教育の拡がりと深さに見る集団一律教育大転換の勧め。

〔主要目次〕 はじめに 1章 才能教育の歴史と概念 2章 知能・才能の概念と評価 3章 早修の措置とプログラム 4章 拡充のプログラムとモデル 5章 才能児と心理的支援 終わりに：日本の才能教育への示唆 あとがき アメリカ才能教育への手引き 文献 索引

アメリカの教育支援ネットワーク

ベトナム系ニューカマーと学校・NPO・ボランティア

野津隆志著

ISBN 978-4-88713-782-0 C3037 [2007] A5・208頁・2400円

多文化共生の時代に不可欠な移民・難民への教育支援の実際を、アメリカの事例から具体的に学ぶ。

〔主要目次〕 はじめに 序章 ネットワーク型支援の探求 1. オリンピアにおけるインドシナ難民支援の歴史 2. 小学校における学習支援者たち 3. 高校のESLクラス支援者たち 4. NPOによる放課後クラブ活動 5. NPOによる職業訓練支援 6. 高校におけるネットワーク型学習 終章 ネットワーク型支援のための参加と連携

アメリカ進歩主義教授理論の形成過程

教育における個性尊重は何を意味してきたか

宮本健市郎著

ISBN 4-88713-645-5 C3037 [2005] A5・416頁・7000円

曖昧なまま多用されている個性尊重教育の意味・方法を、源流に遡り詳細に分析・考察した労作。

〔主要目次〕 第1部 19-20世紀転換期における個性概念の変化(19世紀末における学年制・学級制の改革 ほか) 第2部 進歩主義教育における個別化・個性化の思想と実践(年齢主義進級制の普及 ヘレン・パーカーストの教育思想とドルトン・プラン ほか) 結論 付論 アメリカ新教育運動における学級編成論の展開

アメリカの大学基準成立史研究

「アクレディテーション」の原点と展開

前田早苗著

ISBN 4-88713-480-0 C3037 [2003] A5・240頁・3800円

一次資料による米国大学評価発展の実態解明を通じ、わが国の第三者評価に大きく寄与する労作。

〔主要目次〕 序章 1. 教育辞典にみるアクレディテーションの定義とその変遷—1911年から1950年を中心に— 2. ニューイングランド地区基準協会の設立とアクレディテーションへの模索 3. 北中部地区基準協会の設立とアクレディテーションの実施 終章

アメリカのバイリンガル教育

新しい社会の構築をめざして

末藤美津子著

ISBN 4-88713-479-7 C3037 [2002] A5・240頁・3200円

常に対立を孕むその理念と実態の追究を通じ、現代世界の「資源」としての意義を示唆する労作。

〔主要目次〕 序章 研究の課題と方法 1. バイリンガル教育政策前史 2～4. 連邦政府のバイリンガル教育政策 5. ニューヨークにおけるバイリンガル教育政策 6. カリフォルニア州におけるバイリンガル教育政策 7. 政治と運動のダイナミズム 終章 アメリカにおけるバイリンガル教育の意義

アメリカ大学史とジェンダー

坂本辰朗著

ISBN 4-88713-421-5 C3037 [2002] A5・352頁・5400円

米国大卒第一世代の女性の体験を通じ、今も引き続く高等教育におけるジェンダーの問題を考察。

〔主要目次〕 1. 本研究の構想と基本的視座 2. 19世紀後半のマサチューセッツ州における女性運動と女性の高等教育 3. ボストン大学における男女共学制と大学教育におけるジェンダーの問題 4. 女性の大学卒第一世代と新たな高等教育拡大運動 終章 結論と今後の研究課題

アメリカ教育史の中の女性たち

ジェンダー、高等教育、フェミニズム

坂本辰朗著

ISBN 4-88713-462-2 C3037 [2002] A 5・272 頁・3800 円

19世紀女性の高等教育参入と共に露呈した伝統的大学教育の偏向性を当時の一次資料を基に追究。

【主要目次】 1. ボストン・ラテン・スクール論争再考 2. ハーバード女性試験の成立と終焉 3. セミナーからカレッジへ 4. 20世紀初頭のアメリカ合衆国における女性高等教育、ほか

アメリカの女性大学：危機の構造

坂本辰朗著

ISBN 4-88713-333-2 C3037 [1999] A 5・176 頁・2400 円

一時の凋落から再生へー米国の現状分析に基づき女性大学の新たな存在意義と改革動向を追求。

【主要目次】 1. 女性大学の歴史的系譜 2. 1960年代以降の女性大学・危機と対応 3. 女性学研究と女性大学の新たな意義づけ 4. 女性大学のプロフィールと分類 5. 女性大学の「危機」の事例研究―共学制への移行をめぐる二つのケース・スタディ 6. 女性大学の「危機」克服のための基本的改革動向 終章 大学教育におけるジェンダー

アメリカ連邦政府による大学生経済支援政策

犬塚典子著

ISBN 4-88713-720-6 C3037 [2006] A 5・272 頁・3800 円

多様できめ細かなその全容を詳述。わが国今後の学生援助のあり方に大きく示唆する包括的研究。

【主要目次】 序章 本研究の課題と対象および方法 1. 意図せざる発端 2. 国家と大学との接近 3. 「心理的突破口」としての国防-「国防教育法」学生ローン 4. 「教育の機会均等」を求めて-「高等教育法」給付奨学金・連邦保証ローン 5. 拡大した大学生経済支援政策 終章 総括と今後の研究課題

教育は「国家」を救えるか（新装版）

質・均等・選択の自由

今村令子著

現代アメリカ教育1巻

ISBN 4-88713-270-0 C3037 [1987] 四六・416 頁・2500 円

構造的に活写された80年代教育改革の動きの中から、現代アメリカの全体像が鮮やかに見えてくる。

【主要目次】 Ⅰ. 「危機に立つ国家」の衝撃(3編) Ⅱ. 教育は国家を救えるか 1. 教育研究者・教員・州知事たち(7編) 2. レーガン・ベル・ベネット(6編) Ⅲ. 「合わせ鏡」としての日米教育改革―「教育競争」を超えて(5編)

永遠の「双子の目標」

多文化共生の社会と教育

今村令子著

現代アメリカ教育2巻

ISBN 4-88713-117-8 C3037 [1990] 四六・464 頁・2800 円

民主社会の存立を賭け、永遠の難問＝平等と質の同時達成に挑む米教育改革の本質と軌跡を詳述。

【主要目次】 序. 「バック事件」の意義 Ⅰ. 革新的教育施策の展開：1. ハンディキャップ解消を基軸に、他4章9編 Ⅱ. 動揺するリベラル教育路線：1. 「基礎に帰れ」、他4編 Ⅲ. アメリカ教育風土の現在：1. 「文化リテラシー論」の台頭、他3編 終. 永遠の「双子の目標」

中国高等教育独学試験制度の展開

南部広孝著

ISBN 978-4-88713-957-2 C3037 [2009] A 5・248 頁・3200 円

独学で得た知識・技能を試験で認定し、大学卒の資格を与える中国独自のシステムを初めて全容紹介。

【主要目次】 序章 研究の目的と課題 1. 高等教育の多様化過程 2. 高等教育システムの量的拡大 3. 高等教育独学試験制度の導入と基本的な枠組み 4. 試験参加者のプロフィールと意識 5. 学習支援活動の展開 6. 開設専攻と試験科目 7. 多様化した高等教育システムにおける高等教育独学試験制度の位置づけ

現代中国初中等教育の多様化と制度改革

楠山研著

ISBN 978-4-88713-971-8 C3037 [2010] A 5・256 頁・3600 円

平等の理念と住民・民族間の格差―この矛盾の中の苦闘する中国教育を改革の実態を概観・考察。

【主要目次】 序章 現代における学校制度改革の役割 1. 世界の学校制度とその改革の論理 2. 中国の学校制度 3. 中国の学校教育における多様化と地方化 4. 中国における義務教育制度の導入 5. 中国における6-3 制と5-4 制 6. 中国における学校選択制と学区制 7. 中国における小中一貫という発想 終章 中国における学校制度改革の論理

中国教育の文化的基盤

顧明遠著 大塚豊監訳

ISBN 978-4-88713-923-7 C3037 [2009] A 5・344頁・3600円

孔子から鄧小平までを、教育現代化の基盤として中国の教育伝統を、その長所・欠点共に深く論考。

【主要目次】 1. 教育と文化 2. 中国文化とその基本的特徴 3. 中国伝統文化の類型、性質と基本精神 4. 中国の教育伝統とその基本的特質 5. 中国伝統文化の中国教育に対する影響 6. 西洋の学問の東漸と中国教育の現代化 7. 西洋教育制度と教育思想の中国教育に対する影響 8. 中国におけるマルクス主義の伝播とマルクス主義教育思想の誕生 ほか

中国大学入試研究

変貌する国家の人材選抜

大塚豊著

ISBN 4-88713-750-9 C3037 [2007] A 5・256頁・3600円

建国以来変貌を続けるその歴史を通して見えてくる現代中国の動態—中国大学入試研究の決定版。

【主要目次】 序章 政治と経済の変動のはざまで揺れる教育 1. 統一の模索—建国前後の大学入試制度改革 2. 思想性と専門性をめぐる重心移動 3. 文革期の「実験」 4. 文革直後の高等教育機会をめぐる政策 5. 高校・大学の接続問題 6. 市場経済移行期の大学入学者選抜

中国の民营高等教育機関

社会ニーズとの対応

鮑 威著

ISBN 4-88713-726-4 C3037 [2006] A 5・624頁・4600円

中国社会の構造的変動の一環として拡大を続けるその全容を総合的に分析・考察する初の研究。

【主要目次】 序章 1. 民营高等教育の生成・拡大とそのメカニズム 2. 学生の属性から見た帶給の対応関係 3. 学生の進学動機から見た帶給の対応関係 4. 機関類型別の教育環境・内容の特質 5. 変わる労働市場の構造、変わる学生の就業意識 6. 構造変容下の民营高等教育機関と労働市場とのリンケージ 終章 結論と課題

中国高等教育の拡大と教育機会の変容

王傑著

ISBN 978-4-88713-811-7 C3037 [2008] A 5・208頁・3900円

市場原理の拡大は成長し続けた中国高等教育をどう変動させるか？日本にも大きく示唆する労作。

【主要目次】 序章 研究の課題、理論、枠組みおよび事例研究の概要 1. 中国高等教育の拡大と授業料徴収のパターン 2. 大規模な拡大過程における教育機会の階層間格差の変化 3. 大学教育費の私的負担の状況 4. 学生援助受給の実態と階層的配分の状況 5. 学部生の進路志向における家庭的背景の影響 終章

中国の後期中等教育の拡大と経済発展パターン

江蘇省と広東省の比較分析

呉琦来著

ISBN 4-88713-611-0 C3037 [2005] A 5・240頁・3827円

経済発展と教育拡大の関係は決して一律ではない。中国における実態を初めて実証データで検証。

【主要目次】 第1部 中国における後期中等教育の拡大と経済発展（中国における後期中等教育の発展と社会経済的背景 ほか） 第2部 江蘇省と広東省における後期中等教育の拡大と経済発展パターン（江蘇省と広東省の経済発展パターンと両省における教育発展の比較可能性 ほか）

中国の職業教育拡大政策

背景・実現過程・帰結

劉文君著

ISBN 4-88713-552-1 C3037 [2004] A 5・288頁・5048円

果たして成功だったのか？経済発展の蔭に潜む意図と実態の乖離を鋭く追求した初の実証的研究。

【主要目次】 序章（研究の目的と職業教育の定義・パターン ほか） 1. 中国における職業教育の制度と構造 2. 職業教育拡大政策の展開 3. 職業教育における中央と地方 4. 山東省における職業教育政策 5. 市・学校レベルでの職業教育拡大政策の具体化と問題点 結論（職業教育への期待とその結果 ほか）

陶行知の芸術教育論

生活教育と芸術との結合

李燕著

ISBN 4-88713-721-4 C3037 [2006] A 5・256頁・3600円

民衆の生活改善教育の一環として芸術教育を推進した中国教育界の巨人—その思想と実践の全貌。

【主要目次】 第1部 陶行知による民主主義的教育改革論（デューイの民主主義教育論と中国教育問題 陶行知の民主主義教育論と彼の見た中国の現実情況 デューイ、陶行知の中国民主主義的教育思想の本質） 第2部 陶行知の芸術教育論（「生活即教育」—陶行知の「教学做合一」における「做」の概念 偽知識の批判 ほか）

「改革・開放」下中国教育の動態

江蘇省の場合を中心に

阿部洋編著

ISBN 4-88713-644-7 C3037 [2005] A 5・464頁・5400円

社会主義中国における少数民族教育

「民族平等」理念の展開

小川佳万著

ISBN 4-88713-384-7 C3037 [2001] A 5・304頁・4600円

戦後台湾教育とナショナル・アイデンティティ

山崎直也著

ISBN 978-4-88713-890-2 C3037 [2009] A 5・304頁・4000円

「郷土」としての台湾

郷土教育の展開にみるアイデンティティの変容

林初梅著 アジア太平洋フォーラム・淡路会議
第8回 アジア太平洋研究賞・佳作

ISBN 978-4-88713-887-2 C3037 [2009] A 5・384頁・4600円

アジア・太平洋高等教育の未来像

静岡総合研究機構編・馬越徹監修

ISBN 4-88713-636-6 C3037 [2005] 四六・224頁・2500円

東南アジア諸国の国民統合と教育

多民族社会における葛藤

村田翼夫編著

ISBN 4-88713-388-X C3037 [2001] A 5・352頁・4400円

マレーシア青年期女性の進路形成

鴨川明子著 日本比較教育学会平塚賞受賞(2008年度)

ISBN 978-4-88713-882-7 C3037 [2008] A 5・416頁・4700円

現行中国教育の重層的把握をめざし、省内南北格差の著しい江蘇省を核にその全容を検証・考察。

〔主要目次〕第1部 教育普及政策の展開と課題-1990年代後半期江蘇省の教育状況 第2部 学習社会のなかの子どもと大人-アンケート調査の分析結果 第3部 調査後における中国教育の動向-21世紀への展開と課題

民族的差異の尊重か?経済的格差は是正か?現代の普遍的課題・多民族共生に大きく示唆する力作。

〔主要目次〕1.少数民族教育の誕生 2.民族学院における人材養成 3.少数民族地区における人材養成 4.涼山イ族自治州におけるイ語教育の展開 5.延辺朝鮮族自治州における言語問題 6.涼山イ族自治州における経済水準の向上と教育機会 8.「民族平等」への少数民族教育、他2章

その政治的動態を如実に反映した教育における「個人の国民化」の実態を公民教育を中心に分析。

〔主要目次〕序章 本書の研究視角 1.本書の分析枠組み 2.九年国民教育政策と国定教科書制度の成立 3.権威主義体制下における公民教育の「中国」化 4.民主化・自由化時代の教育改革と公民教育 5.台湾における教育の「本土化」と「国家認同」 終章 台湾教育の課題と展望-変化と不变の政治社会学

歴史の激動と共に変遷を続けてきた台湾郷土教育の分析を通じ、郷土教育が孕む政治性を鋭く剔出。

〔主要目次〕序章 問題意識・研究の視角 第1部 記憶の中の郷土教育 第II部 今日の郷土教育形成の場 第III部 郷土科時代の展開 第IV部 九年一貫課程による郷土教育の新しい展開 終章 台湾郷土教育思潮の特徴とその意味すること

既に日本を上回る諸国の改革の速度―外国人研究者を交えたフォーラムを基にその実態を論究。

〔主要目次〕序 グローバリゼーションのなかのアジアの大学 1.アジア・太平洋地域の高等教育改革(アジア・太平洋地域の高等教育の見方 高等教育拡大と私立高等教育 ほか) 2.国の現状と課題(中国高等教育の発展と改革 韓国における高等教育 ほか) 3.座談会「アジアの高等教育の現状と課題」

葛藤を超え多民族民族統合をめざす各国の教育実態を国別論考・横断比較で的確に示す初の包括的研究。

〔主要目次〕1.東南アジアにおける多文化と国民統合 2.東南アジア諸国の民族と教育(タイ/インドネシア/マレーシア/シンガポール/フィリピン/ベトナム/ミャンマー/スリ・ランカ) 3.東南アジアの文化と教育(英語教育/華語教育、他4節) 4.東南アジア諸国と日本の教育交流・協力 5.東南アジア諸国の国民統合と教育

急速に男女教育・進路格差を是正しつつあるマレーシア―その異例の成功要因となお残る問題点。

〔主要目次〕序章 比較教育学におけるジェンダー研究の諸問題 1.マレーシア教育研究の現状と課題 2.マレーシアにおける女性の教育機会拡大 3.ペラ州における後期中等学校生徒の進路分化 4.ペラ州における後期中等学校女子生徒の性役割観と進路形成 5.ペラ州における青年期女性の進路形成自己同定 終章 結論

マレーシアにおける国際教育関係

教育へのグローバル・インパクト

杉本均著

ISBN 4-88713-595-5 C3036 [2005] A 5・464頁・5700円

多民族・多文化かつ経済的に優越する少数派の存在一過酷な条件下挑戦を続けるその教育の全容。

〔主要目次〕第1部 マレーシアの教育にみる国際関係（マレーシアの教育におけるグローバル・インパクト アカデミックな人的流動にみる国際教育関係 中等理科カリキュラムの開発と国際「移植」 ほか）第2部 国境を越える教育問題－近隣諸国とマレーシア（インドネシアのイスラーム高等教育 シンガポールのマレー人教育 ほか）

バングラデシュ農村の初等教育制度受容

日下部達哉著 日本比較教育学会平塚賞受賞（2007年度）

ISBN 978-4-88713-801-1 C3037 [2007] A 5・216頁・3600円

途上国農民は近代的教育にいかなる意味を見出しているか？「下からの受容」の視点で徹底追求。

〔主要目次〕序章 バングラデシュ教育研究の課題 1.国内比較分析の手法を用いたバングラデシュ教育研究の枠組み 2.バングラデシュにおける初等教育拡充政策 3.萌芽的受容 4.親和的受容 5.葛藤的受容 6.自律的受容 終章 初等教育制度受容の共通性と多様性

タイにおける教育発展

村田翼夫著

ISBN 978-4-88713-776-9 C3037 [2007] A 5・448頁・5600円

その改革が世界に注目されるタイ教育の現状と課題を、固有の文化と歴史を踏まえ詳述・考察。

〔主要目次〕序章 研究の目的、方法、枠組み 1.教育普及と教育格差 2.タイの中核的教育 3.国民統合と教育－その歴史の展開 4.現代教育改革の潮流－ブレイム政権以降の時代（1980年～現代） 5.国民教育の特質と課題 補章 タイ教育協力の現状と課題 [資料編]

フィリピンの公教育と宗教

成立と展開過程

市川誠著

ISBN 4-88713-323-5 C3037 [1999] A 5・288頁・5600円

独自の「任意選択制」宗教教育の消長を、背後の政治状況とともに活写した、わが国初の研究。

〔主要目次〕序章 1.宗教教育制度の成立・展開の諸要因 2.宗教教育制度の成立：1901年～30年代前半 3.宗教教育制度の展開〔1〕：1930年代半ば～50年代 4.宗教教育制度の展開〔2〕：1960年代以降 終章 資料、略年表、ほか

変革期ベトナムの大学

D. スローパー他編著 大塚豊監訳

ISBN 4-88713-299-9 C3037 [1998] A 5・256頁・3800円

新たな体制に適合したシステムを求め苦闘する実態を的確に論考した、ほとんど唯一の本格的文献。

〔主要目次〕1.内側から開かれた扉 2.1986年以降の社会・経済的背景 3.教育制度の変遷 4.政策決定の背景と教育・訓練政策 5.高等教育の組織と管理運営 6.大学教職員のプロファイル 7.大学院教育と大学教員の職階 8.研究活動と高等教育、他4章 統計 略年表 学校制度図

オーストラリア学校経営改革の研究

自律的学校経営とアカウンタビリティ

佐藤博志著 日本教育経営学会・学術研究賞受賞（2010年度）

ISBN 978-4-88713-929-9 C3037 [2009] A 5・328頁・3800円

自律的经营に必然的に伴うアカウンタビリティとは具体的に何を意味するのか？事例を通じ詳論。

〔主要目次〕序章 研究の目的と方法 1.自律的学校経営論の生成・発展と政策への影響 2.学校審議会 3.教育課程政策・人事政策・財務政策 4.アカウンタビリティ政策 5.事例研究終章 自律的学校経営におけるアカウンタビリティのメカニズム 文献一覧 資料：インタビュー記録

オーストラリアの言語教育政策

多文化主義における「多様性」と「統一性」の揺らぎと共存

青木麻衣子著

ISBN 978-4-88713-880-3 C3037 [2008] A 5・296頁・3800円

「白豪主義」を一擲し多文化共生を推進してきたその言語政策は日本の未来にも大きく示唆する。

〔主要目次〕序章 研究の目的 第1部 オーストラリアにおける国家言語政策の成立とその変遷 1.オーストラリアにおける二つの国家言語政策 2.国家言語政策の必要性をめぐって 第2部 オーストラリアにおける言語教育政策・その実施状況 3.英語のリテラシー教育 4.アジア言語の教育 5.コミュニティ言語の教育 終章 結論

戦後オーストラリアの高等教育改革研究

杉本和弘著 日本比較教育学会平塚賞受賞(2004年度)

ISBN 4-88713-540-8 C3037 [2003] A 5・384頁・5800円

独自の二元性システムはなぜ崩壊したのか？大学と非大学機関の競合を軸とした初の包括的研究。

〔主要目次〕序 戦後オーストラリア高等教育システム転換-課題と方法 1. オーストラリア高等教育の歴史的展開 2. 二元的高等教育システムの成立と展開 3. 一元的高等教育システムへの転換 4. システム転換の事例研究 結語 高等教育システム転換の意味

オーストラリア・ニュージーランドの教育

石附実・笹森健編

ISBN 4-88713-381-2 C3037 [2001] A 5・272頁・2800円

従来情報不十分だった両国教育の全貌を現地日本人の実践論考を加え包括的に紹介した初の概説書。

〔主要目次〕序章 その教育の土壌 1部 オーストラリアとその教育：1980年以降の教育改革の理念と動向 特色ある教育、他4章 2部 ニュージーランドの教育：独自の体制を維持する初等・中等教育制度 特色ある教育、他4章 3部：学校とその教育の実態(3章) 教育年表ほか

ケベック州の教育

1600年から1990年まで

小林順子著

カナダの教育1

ISBN 4-88713-186-0 C3037 [1994] A 5・160頁・2000円

カナダ教育初の総合的研究。独自の学制をもつ州別の記述によりその多様性に富む全貌を明示する。

〔主要目次〕1. フランス領時代の学校 2. 英国領時代の学校教育の問題 3. 連邦制度成立と教育制度の発展 4. 静かな革命期の教育改革 5. 新しい教育制度の発展 [付] 全体統計 参考文献 ケベック州教育統計 ケベック州教育史年表

21世紀にはばたくカナダの教育

カナダの教育2

小林順子・関口礼子・浪田克之介・小川洋・溝上恵子編著

ISBN 4-88713-515-7 C3037 [2003] A 5・352頁・2800円

国際学力テストにおける高得点で注目を集め、多文化・卓越性・先住民教育等特色あるその全貌を紹介。

〔主要目次〕Ⅰ部 1990年代の教育改革(民族融合の進むブリティッシュコロンビア州の教育改革 卓越性を求めるアルバータ州の教育及びオンタリオ州、ケベック州) Ⅱ部 カナダの教育の諸問題(教育行政 社会人の学習機会 言語教育 IT 多文化問題 先住民教育制度、等) 資料 付録、ほか。

多様社会カナダの「国語」教育

高度国際化社会の経験から日本への示唆 カナダの教育3

関口礼子・浪田克之介編著

カナダ首相出版賞受賞

ISBN 4-88713-685-4 C3037 [2006] A 5・432頁・3800円

多言語社会カナダの国語教育こそ未来の教育への貴重な示唆。時宜を得た「カナダの教育」シリーズ最新刊。

〔主要目次〕第1部 多様社会を形成した要因(多様社会を構成するに至った移民政策 統計データから見た外国人の到着状況 ほか) 第2部 国語教育の諸様相(公用語政策の背景と現状 言語教育をめぐる政策 ほか) 第3部 国語教育を担う教員と理論(英語教員の養成と研修 カナダの生んだ言語教育の理論 ほか)

ヨーロッパ近代教育の葛藤

地球市民の求める教育システムへ

関啓子・太田美幸編

ISBN 978-4-88713-906-0 C3037 [2009] A 5・224頁・3200円

明日の地球社会のため、一層の普遍化に向けて西洋近代教育が孕む刷新の可能性を多角的に追究。

〔主要目次〕1. 近代教育：葛藤の小史 2. 教育システムの機能 3. 公教育と宗教 4. 成人教育のゆくえ 5. 環境教育の挑戦 6. 転換期の教師 7. 構築される「教育問題」 8. グローバル化もとの国民教育制度の構築 9. 「知のヨーロッパ」という新しい神話 10. 教育再生の道筋

戦間期オーストリアの学校改革

伊藤実歩子著

ISBN 978-4-88713-962-7 C3037 [2010] A 5・192頁・3600円

統一学級と労作教育―戦間期オーストリアで萌芽した現代に通じる二つ知られざる新機軸を紹介。

〔主要目次〕序章 1. 戦間期オーストリアのレーアプラン改革 2. 戦間期オーストリアの教員養成改革 3. エドゥアルト・ブルガーの労作教育論 4. エドゥアルト・ブルガーの労作教育実践論 5. 戦間期オーストリアの労作共同体の取り組み 6. 戦間期オーストリアの評価改革 7. オーストリアにおける学校改革の「伝統」 終章

現代ドイツ政治・社会学習論

「事実教授」の展開過程の分析

大友秀明著

ISBN 4-88713-647-1 C3037 [2005] A 5・400頁・5200円

日本の社会科学等を視野に、ドイツでの市民性育成教育の中核をなす教科展開の全容を紹介・考察。

〔主要目次〕第1部 「事実教授」理論の構築（郷土科・科科教授から事実教授・教科教授へ ほか） 第2部 「事実教授」の実践展開（70年代の政治・社会学習の実践構造 80年代の「事実教授」の変容過程 ほか） 第3部 「事実教授」「環境教育」「総合的学習」「環境教育カリキュラムと総合的学習 ほか）「政治教育」と「事実教授」の展望

現代ドイツ教育学の思惟構造

林忠幸著

ISBN 4-88713-662-5 C3037 [2006] A 5・256頁・3800円

日本にも大きく影響した精神科学的教育の系譜・方法と現代的意義を、源流に遡り詳細に論究。

〔主要目次〕第1部 20世紀初頭ドイツ教育学の系譜と課題（生の哲学と教育学 フリッシュアイゼン＝ケーラーにおける教育的関係論の成立ほか） 第2部 20世紀初頭ドイツ教育学の方法問題（モイマンにおける実験教育学の方法論的前提 ほか） 第3部 付論（ベスタロッチの歴史哲学思想と教育の課題 ほか）

イギリスの教育課程改革

その軌跡と課題

木村浩著

ISBN 4-88713-672-2 C3037 [2006] A 5・256頁・2800円

戦後わが国の教育改革を視野に、従来の複線型中等教育の総合化はじめ英国の課程改革を詳論研究。

〔主要目次〕1.教育課程改革の進展とその軌跡 2.教育課程と総合学習の展開 3.教育課程と職業体験学習 4.教育課程と能力別指導 5.教育課程と教科書 6.教育課程と中等教育修了資格試験 7.教育の国際化と多文化教育

現代英国の宗教教育と人格教育(PSE)

柴沼晶子・新井浅浩編著

ISBN 4-88713-392-8 C3037 [2001] A 5・304頁・5200円

多宗教容認かキリスト教への統合か？価値相対化の趨勢の中苦闘を続ける英国の実際を詳説。

〔主要目次〕1部 英国の宗教教育：1.1988年教育改革法に至るまでの宗教教育、他2章 2部 英国マイノリティと宗教教育：3.イスラム教徒の教育、他2章 3部 英国の人格教育(PSE)：1.PSEの確立と特質、他2章 終章 「共通の価値」の設定から「市民性の教育」へ ほか

ドイツの教育のすべて

M.ブランク教育研究所研究者グループ著 天野正治他監訳

ISBN 4-88713-687-0 C3037 [2006] B5・512頁・10000円

東西の分裂から歴史的統一を経て、ヨーロッパ統合を見すえ展開されるドイツ教育の貴重な総合的概説書。

〔主要目次〕1945年以降における教育の拡大と近代化 教育制度の制度的枠組み 国際的次元-ヨーロッパと世界 東ドイツと西ドイツにおける普通教育学校制度の基本的な発展 幼稚園、就学準備学校、基礎学校 特別の教育的促進を必要とする子どもたち 学校と外国人子女 ほか

ドイツの教育

天野正治・結城忠・別府昭郎編著

ISBN 4-88713-285-9 C3037 [1998] A 5・464頁・4600円

今日の政治・社会・文化の著しい変動を背景にその全貌を体系的に詳説。東西統一後の本格的概説書。

〔主要目次〕I部 教育の歩みと教育の組織運営（1～4章）II部 学校教育の組織・内容・方法（5～10章）III部 多様な子ども・青少年の教育と福祉（11～14章）IV部 高等教育・職業教育・生涯学習（15～18章）V部 統一後の教育のゆくえ（19～20章）付録 主要統計表・教育年表

フランス保育制度史研究

初等教育としての保育の論理構造

藤井穂高著

ISBN 4-88713-265-4 C3037 [1997] A 5・432頁・7600円

19世紀の発足以来、常に初等教育の一環だった仏保育制度の歴史と理念を、総合的に追求した労作。

〔主要目次〕序章 「初等教育としての保育」という問い I部 保育所の論理と構造：1.社会秩序の維持と労働者の育成、他3章 2部 母親学校の論理と構造：1.「初等教育としての保育」の成立と母親学校の目的 2.保育の独自性の模索とその困難性、他3章 法令・文献・附属資料

21世紀を展望するフランス教育改革

1989年教育基本法の論理と展開

小林順子編

ISBN 4-88713-266-2 C3037 [1997] A 5・496頁・8640円

理想追求の気概に満ちたジョスパン主導の89年改革の理念と実際を多方面から解明。

【主要目次】第1部 歴史的背景と改革の基本原則(1989年教育基本法の基本原則-20世紀フランス教育改革の総決算 ほか) 第2部 教育各領域における改革の展開(保育学校の役割と教育-最初の学校 初等教育改革の論理と構造 前期中等教育改革の系譜とその特質 ほか)

比較教育学

越境のレッスン

馬越 徹著

ISBN 4-88713-754-7 C3037 [2007] A 5・352頁・3600円

比較教育学発展の歴史をたどりつつ、国家戦略としての高等教育の重要性を比較の視座から実証。

【主要目次】Ⅰ部 比較教育学方法論 1.1990年代の比較教育学研究 2.「地域研究」と比較教育学 3.比較教育学教育の課題と方法 4.比較教育学の教育研究基盤 5.日本比較教育学会の40年 Ⅱ部 比較教育学研究の実践 6.アジアの変貌と日本人の国際性 7.アジア高等教育の比較考察 8.大学改革の日韩比較 ほか

比較教育学

伝統・挑戦・新しいパラダイムを求めて

M. ブレイ編著 馬越徹・大塚豊監訳

ISBN 4-88713-640-4 C3036 [2005] A 5・368頁・3800円

世界比較教育学会(01年)での代表的論考を体系的に編集した、現代比較教育学の最前線。

【主要目次】世界比較教育学会の伝統、変化、役割 1.概念と方法(グローバル化した世界における比較・国際教育学の未来 ほか) 2.政治的諸力と比較教育学(変化の10年:中欧・東欧の教育政策 ほか) 3.比較の観点からみた文化(韓国人とアメリカ白人児童の表現スキルに見られる文化と学年による差異 ほか)

比較教育学の理論と方法

J. シュリーバー編著・馬越徹・今井重孝監訳

ISBN 4-88713-370-7 C3037 [2000] A 5・304頁・2800円

現代における教育と比較研究の在り方を徹底追求。最先端社会科学理論に裏打ちされた新テキスト。

【主要目次】第1部 変化する比較教育学理論(比較教育学における「比較」の意味 ほか) 第2部 比較教育学理論の有効性(異文化間比較における概念の諸問題 社会科学としての比較教育学-因果関係論・決定論との関連において ほか) 第3部 比較教育学理論の学問的位置(比較教育学における「知」 ほか)

比較・国際教育学(補正版)

石附実編著

ISBN 4-88713-298-0 C3032 [1998] A 5・432頁・3500円

日本の教育を外国との比較や関係を通じてその特質や問題点を究明する日本初の体系的な概説書。

【主要目次】Ⅰ比較・国際教育学を概観する 比較・国際教育学とは何か他2章 Ⅱ各国の教育を比較と関係から考えるアメリカ他7章 Ⅲ日本の教育課題に世界の広がりから迫るカリキュラムの比較他3章 Ⅳ日本と世界との交流のあり方を探る留学生他2章

教育における比較と旅

石附実著

ISBN 4-88713-625-0 C3037 [2005] 四六・224頁・2000円

固定から流動へ―自らへの固着を解き払う旅と比較の教育的意義を再評価した含蓄に富む一書。

【主要目次】Ⅰ教育の比較と近代日本の教育(教育の比較 近代日本の教育の諸相-外国との比較から) 2.流動とくに旅と教育(旅と教育 旅の教育学-教育に旅を、教育を旅に 良寛と旅と「老子」と 教育と仏教-「貧弱」を去り、調和に生きる 西洋の旅行動教育論-「旅はすぐれた学校である」 幕末明治の海外留学生 新島襄と旅)

21世紀の教育改革と教育交流

望田研吾編

ISBN 978-4-7989-0007-0 C3037 [2010] A 5・312頁・3800円

海外諸国の教育改革の現況に教育交流の研究を加え、進展する比較教育学の現在を反映した好著。

【主要目次】序 21世紀におけるグローバリゼーションと教育 1.イギリス労働党ブレア政権の教育改革 2.現代におけるイギリスと日本の学校評価の比較 3.現在のイギリスの労働党政権における資格制度改革の動向 4.イギリスの教育における公と私のパートナーシップ 5.アメリカにおける民主主義理念と教育改革 他10章

多元的宗教教育の成立過程

アメリカ教育と成瀬仁蔵の「帰一」の教育

大森秀子著

ISBN 978-4-88713-855-1 C3037 [2009] A 5・320頁・3600円

アメリカ宗教教育の史的研究と成瀬の思想の分析を柱に、今日における宗教教育の在り方を追求・考察。

【主要目次】第1部 アメリカ国民形成の道徳的・宗教的伝統 第2部 コモン・スクールの宗教的基盤とプロテスタントの人間形成 第3部 アメリカのプロテスタント大学における人間形成 第4部 成瀬仁蔵の帰一思想と教育 終章 多元社会における宗教と教育

世界の外国人学校

福田誠治・末藤美津子編

ISBN 4-88713-610-2 C3037 [2005] A 5・416頁・3800円

今や避けて通れぬ在住外国人子女の教育—公教育への組入れを焦点に世界の取組みを紹介・考察。

【主要目次】外国人学校研究の課題 第1部 外国人学校の現状（アメリカの外国人学校と国際学校 カナダの外国人学校と国際学校 ほか） 第2部 外国人学校の歴史（フランス植民地支配とフランス語教育 アメリカにおける日系移民の学校 ほか） 戦後日本における外国人の子どもの教育と外国人学校問題

「学校協議会」の教育効果に関する研究

平田淳著

日本教育行政学会学会賞（2009年度）

ISBN 978-4-88713-802-5 C3037 [2007] A 5・464頁・3800円

親などの代表を含む学校協議会を通した運営がもたらす教育効果は？実証的分析に基づく労作。

【主要目次】1.課題の設定 2.先行研究のレビュー、概念枠組みと理論的視座 3.学校協議会を取り巻く諸関連改革 4.リサーチデザイン 5.ケース1：任意設置の学校協議会 6.ケース2：義務設置の学校協議会 7.学校協議会で子どもは成長するのか？

世界のシティズンシップ教育

グローバル時代の国民/市民形成

嶺井明子編著

ISBN 4-88713-764-6 C3037 [2007] A 5・256頁・2800円

今日不可欠なこの教育に関し、全世界にわたりその現状と課題を紹介・考察した初の総合的研究。

【主要目次】第1部 今なぜシティズンシップ教育か（世界的な関心の高まり 「国民」「市民」「シティズンシップ」 ほか） 第2部 各国のシティズンシップ教育（アジア編 北米・オセアニア編 旧ソ連諸国編 ほか） 第3部 トランス・ナショナルな動き（ユネスコのシティズンシップ教育 欧州評議会のシティズンシップ教育 ほか）

ヨーロッパの学校における市民的社会的教育の発展

フランス・ドイツ・イギリス

武藤孝典・新井浅浩編著

ISBN 978-4-88713-803-2 C3037 [2008] A 5・376頁・3800円

わが国での既成概念を超え広範多彩に展開されている実態を徹底した現地調査を通じ紹介・考察。

【主要目次】Ⅰ.学校機能の拡充—社会性の教育と市民性の教育 Ⅱ.フランスの学校における社会性の教育と市民性の教育の発展 Ⅲ.ドイツの学校における社会性の教育と市民性の教育の発展 Ⅳ.イギリスの学校における社会性の教育と市民性の教育の発展

市民性教育の研究

日本とタイの比較

平田利文編著

ISBN 4-88713-737-0 C3037 [2007] A 5・304頁・4200円

従来の欧米志向を超え、両国教育研究者を結集した、アジア圏の市民性教育に関する初の共同研究。

【主要目次】第1部 市民性教育とは—市民性教育の概念と市民性教育に関する諸政策 第2部 市民性教育カリキュラムと教員養成に求められる新しい市民性の育成 第3部 市民性教育に関する質問紙調査 第4部 市民性教育に関する提言と学習単元モデル 巻末資料 小、中、高等学校における市民性教育の学習単元モデル

国際教育開発の再検討

途上国の基礎教育普及に向けて

小川啓一・西村幹子・北村友人編著

ISBN 978-4-88713-824-7 C3037 [2008] A 5・288頁・2400円

被援助国・援助国双方に伏在する阻害要因を摘出し、より有効な支援をめざす理論と実際の全て。

【主要目次】第1部 EFAをめぐる国際的な動きと課題（1.EFA推進のためのグローバル・メカニズム ほか） 第2部 EFA達成のための教育改革と実践的な課題（4.地方分権化におけるEFA 目標達成と能力開発 ほか） 第3部 EFAに向けた取り組みに関する分野横断的な課題（7.教育の質に関する課題 ほか）

教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻

人が育ち、クラスが育ち、社会が育つ

開発教育・国際理解教育アクションプラン研究会編

ISBN 4-88713-704-4 C3037 [2006] A 4・192頁・2000円

学校での国際理解教育授業支援のため、簡潔・具体的にその意義・概念・内容をまとめた新テキスト。

〔主要目次〕 1 はじめる前に（本書の特徴 本書の使いかた 本書の見かた 開発教育・国際理解教育とは ほか） 2 モデルプログラム（クラス目標づくり コミュニケーション 人権 異文化理解 ほか） 3 巻末資料

日本の教育経験

途上国の教育開発を考える

国際協力機構編著

ISBN 4-88713-599-8 C3037 [2005] A 5・336頁・2800円

近現代日本の教育開発を途上国に贈る格好の経験知と捉え、その応用可能性を多角的に吟味考察。

〔主要目次〕 開発途上国の教育課題 第1部 日本の教育史の概観（日本の近代化と教育の発展） 第2部 日本の教育経験（教育行政 教育財政 学校経営 明治時代の就学促進策-地方の取り組みを中心に 女子教育 ほか） 第3部 開発途上国における日本の教育経験の応用に向けて 付録（年表：日本の教育の変遷 教育統計）

バイリンガルテキスト 現代日本の教育

村田翼夫・山口満編著

ISBN 978-4-88713-979-4 C3037 [2010] A 5・712頁・3800円

日英文対照表示。英語で日本の教育を学習・教示できる、留学生、国際協力教員等好適のテキスト。

〔主要目次〕 第Ⅰ章 日本の教育の背景・展望と基本原則 第Ⅱ章 教育の概要 第Ⅲ章 教育行財政・経営の現状と課題 第Ⅳ章 教員制度の現状と課題 第Ⅴ章 国際教育の展開 第Ⅵ章 教育内容・方法の概要 第Ⅶ章 教科教育等の特色 第Ⅷ章 教育内容・方法の課題

比較教育学研究

長い歴史を持つ日本比較教育学会の紀要、88年度より小社が発行・市販担当。査読を経て採用された自由投稿論文のほか、大会公開シンポジウム、課題研究に基づく特集。書評・文献紹介も充実。2006年より年2回刊。※15、16、20、21、23、27、28号品切れ

比較教育学研究14**(特集) 教育改革と比較教育学**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-084-8 C3037 [1988]

A 5154 頁・2000 円

比較教育学研究25**(特集) 比較教育学の新展開**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-335-9 C3037 [1999]

A 5・230 頁・2600 円

比較教育学研究17**(特集) 比較教育学研究の回顧と展望へ**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-133-X C3037 [1991]

A 5284 頁・2900 円

比較教育学研究26**(特集) 子どもの危機と教育の対応**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-336-9 C3037 [2000]

A 5・272 頁・2600 円

比較教育学研究18**(特集) 社会主義の現状と教育の将来**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-146-1 C3037 [1992]

A 5228 頁・2621 円

比較教育学研究28**(特集) 公立学校改革の新動向国際比較**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-335-9 C3037 [2002]

A 5・240 頁・2600 円

比較教育学研究19**(特集) 比較教育学教育**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-169-0 C3037 [1993]

A 5230 頁・2718 円

比較教育学研究29**(特集) 学力問題を考える 国際比較**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-507-6 C3037 [2003]

A 5・256 頁・2500 円

比較教育学研究22**(特集) 女性・開発・教育**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-243-3 C3037 [1996]

A 5246 頁・2816 円

比較教育学研究30**(特集) 高等教育改革の比較研究**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-564-5 C3037 [2004]

A 5・240 頁・2500 円

比較教育学研究24**(特集) 日本の教育会改革を問う・世界との比較**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-298-0 C3037 [1998]

A 5236 頁・2600 円

比較教育学研究31**(特集) 国際教育協力の現状と課題**

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-621-8 C3037 [2005]

A 5・304 頁・2500 円

比較教育学研究32

〔特集〕高等教育におけるグローバル化と市場化

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-650-1 C3037 [2006]

A 5・208頁・1700円

比較教育学研究39

〔特集〕ポスト・ネオリベラルの教育設計

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-88713-924-4 C3037 [2009]

A 5・216頁・1700円

比較教育学研究33

〔特集〕義務教育をめぐる意思決定と費用負担

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-688-9 C3037 [2006]

A 5・208頁・1700円

比較教育学研究40

〔特集〕学力調査の国際比較—学力観と授業をめぐる

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-88713-974-9 C3037 [2010]

A 5・224頁・1700円

比較教育学研究34

〔特集〕教育における公私協働

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-733-2 C3037 [2007]

A 5・208頁・1700円

比較教育学研究41

〔特集〕義務教育制度の弾力化と質保証

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-7989-0004-9 C3037 [2010]

A 5・216頁・1700円

比較教育学研究35

〔特集〕教育と言語

日本比較教育学会編

ISBN 4-88713-761-5 C3037 [2007]

A 5・216頁・1700円

比較教育学研究42

〔特集〕比較教育学とはどのような学問か

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-7989-0039-1 C3037 [2011]

A 5・216頁・1700円

比較教育学研究36

〔特集〕国際教育協力における日本型教育実践の応用可能性

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-88713-806-3 C3037 [2008]

A 5・200頁・1700円

比較教育学研究43

〔特集〕国境を超える高等教育プログラム

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-7989-0071-1 C3037 [2011]

A 5・208頁・1700円

比較教育学研究37

〔特集〕対外言語政策

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-88713-844-5 C3037 [2008]

A 5・212頁・1700円

比較教育学研究44

〔特集〕比較教育学は学士課程でどのように教えられているのか？

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-7989-0100-8 C3037 [2012]

A 5・256頁・1800円

比較教育学研究38

〔特集〕高等教育ラーニングアウトカムの質保証

日本比較教育学会編

ISBN 978-4-88713-900-8 C3037 [2009]

A 5・216頁・1700円

教育（教育文化・思想、教育社会学、生涯学習）

子ども・若者の自己形成空間

教育人間学の視線から

高橋勝編著

ISBN 978-4-7989-0070-4 C3037 [2011] A 5・312頁・2700円

「大人になること」の道筋が見出せず、惑い苦しむ若者らに密着し新たな自己形成の場を探究する。

〔主要目次〕序章 変容する子ども・若者の自己形成空間（高橋勝） 1. 子ども・若者の居場所（萩原建次郎） 2. 子どもとメディア空間（荒井聡史） 3. グローバル社会と若者の傷つきやすさ（前川幸子） 4. 子どもの物語／学校の物語（藤井佳世） 5. 「大人になること」の難しさ（後藤さゆり） 6. 臨床空間としての学校（川久保学）

文化変容のなかの子ども

経験・他者・関係性

高橋勝著

ISBN 4-88713-438-X C3037 [2002] 四六・240頁・2300円

子どもを取り囲む矛盾する三つのパラダイム―新たな視座から子どもと大人の関係性を問い直す。

〔主要目次〕第1部 文化変容のなかの子ども（文化変容のなかの子ども 子どもの自己形成空間の変容 ほか） 第2部 情報・消費社会の子ども（情報・消費社会における学校の役割 学校空間を開く ほか） 第3部 文化変容と教師像の再構築（「教師・生徒」関係の組みかえ 教師のもつ「権力」を考える ほか）

教育文化人間論

知の追遁／論の越境

小西正雄著

ISBN 978-4-7989-0032-2 C3037 [2010] A 5・248頁・2400円

今日の学校が保持する無害・無効な教育観の打破をめざし、多元的出力型教育の方途を縦横に展開。

〔主要目次〕序―教育文化人間論というくらゐ 第1部 教育文化論 1. 学校神話の崩壊の中で 2. 総合性と教科性 第II部 文化人間論 3. 抑圧と憧憬のはざまで 4. 戦略的本質主義 5. ノスタルジー再論 第III部 人間教育論 6. 不完全性の相互承認 7. いとおしさの地平 追録 1. 地球断想 2. 社会について学ぶということ

教育の共生体へ

ボディ・エデュケーショナルの思想圏

田中智志編

ISBN 4-88713-511-4 C3037 [2004] A 5・272頁・3500円

国民的統一達成のための権力装置＝近代国民教育を脱構築し、自他共生・共育の新たな思想圏へ。

〔主要目次〕教育の共生体へ―ボディ・エデュケーショナルの思想圏 第1部 近代教育の形成について 第2部 現代の教育言説をめぐる 第3部 ボディ・エデュケーショナルの方へ 教育改革と「公」「共」「私」―内的世界の調和と外的世界の調和

教育制度の構造と機能

井上忠志著

ISBN 978-4-88713-965-7 C3037 [2010] A 5・392頁・4200円

学校制度の枠を超え社会との協働連関の下作用する教育の実態を見据えその根源的再構築を目指す。

〔主要目次〕1. 教育制度の基礎たる社会制度をどう理解するか 2. 教育の基礎過程におけるイニシエーションの意味と機能 3. 教育の基層 4. 世代継起と第一次教育機制 5. 知識の商品化と近代教育の価値形態の成立 6. 教育における再生産の構造と機能 7. 文化資本の社会的基礎と制度的位置 8. 教育制度における自治とその条件 ほか

国際社会への日本教育の新次元

今、知らねばならないこと

関根秀和編

国際共生研究所叢書 1

ISBN 978-4-88713-942-8 C1037 [2009] 四六・192頁・1200円

進展するグローバル化の中、世界標準へ向け日本教育の次元と組織の抜本的刷新を！充実の論考集。

〔主要目次〕はじめに（関根秀和） 1. 世界と日本の教育改革（島居泰彦） 2. 中央教育行政の視点と課題（合田隆史） 3. 学校教育評価の動向と課題（木村孟） 4. 初等・中等教育が立つべき視点（田村哲夫） おわりに（関根秀和）

クリティーク 多文化、異文化

馬淵仁著

ISBN 978-4-88713-995-4 C3037 [2010] 四六・246頁・2400円

結局日本人性固守に帰着する「文化本質主義」を超えて新たな異文化間架橋の途を具体的に追求。

【主要目次】第1部 多文化主義の葛藤 1. 多文化主義とその課題 2. 多文化主義へのまなざし 3. 多文化主義のリアリティ 第1部のまとめ 第2部 異文化理解の陥穽 4. 英語教育にみられる文化の捉え方 5. 日本人論の問題 6. 異文化理解と文化本質主義 第3部 本質主義からの解放 7. 「文化本質主義」脱却への模索ほか

教育的思考のトレーニング

相馬伸一著

ISBN 978-4-88713-854-4 C3037 [2008] A5・304頁・2600円

あなたも生涯を通じ教育の当事者だー従来の教育のイメージを解きほぐすしなやかな実践的思考。

【主要目次】プロローグ 教育的態度について 1. 傍観者から降りる 2. やれば分かる? 3. 確信をもって? 4. 思いもかけぬ? 5. かわいい子には? 6. 子どもの目線で? 7. 個性を育む? 8. 段階的に? 9. 役に立つ知識? 10. 学びはまねび? エピローグ オーバーワークはイヤ?

いま親にいちばん必要なこと

「わからせる」より「わかる」こと

春日耕夫著

ISBN 978-4-88713-961-9 C3037 [2010] 四六・424頁・2600円

今日の子育てや教育に必要なことーそれは否定＝対決型関係を超える共感＝対話型関係の構築だ。

【主要目次】1. 登校拒否と豊かさの病 2. 受容的親子関係の作り方 3. 父親はなぜ息子を殺したのか 4. いま親にいちばん必要なこと 5. 子どもに愛は伝わっていますか 6. わかりあうために

拡大する社会格差に挑む教育

シリーズ日本の教育を問いなおす①

西村和雄・大森不二雄・倉元直樹・木村拓也編

ISBN 978-4-7989-0010-0 C3037 [2010] A5・208頁・2400円

格差の再生産を生み出す教育の問題点を摘出すると共に、再チャレンジ可能な社会の仕組みを追求。

【主要目次】1. 高齢化・所得格差・教育問題 2. 選別主義と格差 3. ゆとり教育政策による格差拡大効果と企業による雇用可能性 4. 豊田自動織機の技術者教育 5. 学校における職業教育の経済効果 6. 学歴社会の再構築と人材の流動化 7. 格差を拡げる入試制度はどのように始まったのか? 他2章

混迷する評価の時代

教育評価を根底から問う

シリーズ日本の教育を問いなおす②

西村和雄・大森不二雄・倉元直樹・木村拓也編

ISBN 978-4-7989-0011-7 C3037 [2010] A5・200頁・2400円

学習成果を測る教育評価の迷走打破のため、技能より意欲を重視する新学力観の見直しを主張する。

【主要目次】1. 新学力観と観点別評価 2. 発達心理学から見た望ましいカリキュラムと教育評価 3. 教員評価制度によって「現場は混乱している」のか? 4. 新しい学力観に基づく無試験の大学入学選考制度の興廃 5. 大学入学者選抜は高大連携活動をどこまで評価すべきか? 他3章

教育における評価とモラル

シリーズ日本の教育を問いなおす③

戸瀬信之・西村和雄編

ISBN 978-4-7989-0042-1 C3037 [2011] A5・208頁・2400円

矛盾なき評価と子どものモラル回復をめざし、教育と社会のつながりを見直す新たな改革を追究。

【主要目次】第1部 新学力観と成績評価 (1. 新学力観の背景 2. 新学力観による評価と入学判定) 第2部 道徳観をどう回復するか (4. 基本的モラルをどう身につけるか 5. 少年はどこへ向かうのか 6. 子育てと道徳心) 第3部 教育評価のあり方 (7. 測れるもの、測れないもの 8. 地方主権における教育サービスの評価方法)

教育から職業へのトランジション

若者の就労と進路職業選択の教育社会学

山内乾史編著

ISBN 978-4-88713-838-4 C3037 [2008] A5・312頁・2600円

世界的に焦点化しつつある若者の就労問題を、比較社会学の視点から多角的に追求・考察。

【主要目次】第1部 日本における若年就労の状況 第2部 先進諸国における若年就労の状況 第3部 社会的排除をめぐって 第4部 若年就労の国際比較 文献目録

進路形成に対する「在り方生き方指導」の功罪

高校進路指導の社会学

望月由起著

ISBN 978-4-88713-799-8 C3037 [2007] A 5・208頁・3600円

教師による有効な「在り方生き方指導」を臨床的スタンスで追求。豊富なデータに基づく労作。

【主要目次】序章 問題の所在 1.学校教育における進路指導の歴史的変遷 2.進路指導研究の知見と課題 3.調査の分析枠組み 4.「在り方生き方指導」の取り組みに関する実態 5.進路意識に対する、「在り方生き方指導」の効果 6.進路選択に対する、「在り方生き方指導」の効果 7.「在り方生き方指導」の功罪 終章

「夢追い」型進路形成の功罪

高校改革の社会学

荒川葉著

ISBN 978-4-88713-888-9 C3037 [2009] A 5・208頁・2800円

生徒の「将来の夢」を最優先させた進路形成・指導がもたらす陥穽を実地調査を通じ鋭く指摘。

【主要目次】序章 冷却・加熱モデルの変容 第Ⅰ部 高校教育改革と新たな冷却・加熱メカニズム (1.学習指導の分断化 2.生徒の進路形成の分断化とクローリングアウトの制度化 ほか) 第Ⅱ部 改革の最先端 (5.大学入試に特化した進路指導・科目選択指導 6.大学入試に向けた進路指導・科目選択指導 ほか) 終章

清水義弘、その仕事

清水義弘先生追悼集刊行委員会編

ISBN 978-4-88713-798-1 C3037 [2008] A 5・232頁・2800円

わが国教育社会学のパイオニアを追悼すると共に、60名に及ぶ執筆者がその業績を多角的に俯瞰。

【主要目次】Ⅰ略年譜・主要著作目録 Ⅱ寄稿 Ⅲ思い出すまでに

現代の教育社会学

教育の危機のなかで

熊谷一乗著

ISBN 4-88713-360-X C3037 [2000] A 5・224頁・2500円

学級崩壊、不登校、相次ぐ少年犯罪等、拡大し続ける教育の危機に社会学の視点から鋭く対決。

【主要目次】1.教育問題と今日の社会 2.人間の発達と集団 3.教育の社会的条件 4.社会としての学校 5.教育社会学の展開と理論的立場 結び 教育の危機の時代と教育社会学の課題

サウンド・バイト：思考と感性が止まるとき

メディアの病理に教育は何ができるか

小田玲子著

ISBN 4-88713-512-2 C3037 [2003] 四六・256頁・2500円

音と映像の連打が人間を壊す—このメディアの病理と闘うには？米国での研究に基づく警世の書。

【主要目次】序章 (画一さをめぐる古くて新しい課題 「多様さ」がなぜ必要か) 1章 サウンド・バイトの要素—「受身」の完成 2章 サウンド・バイトの背景を探る—メディア分析学と「土」の思想 3章 「自分でつくる」という思想—多種少量を提唱する思想家たち：「受身」を越えて

ソーシャルキャピタルと生涯学習

J. フィールド著 矢野裕俊監訳

ISBN 978-4-7989-0041-4 C3037 [2011] A 5・240頁・2500円

詳細な実地調査により、ソーシャルキャピタルの拡大が生涯学習と人々の社会参加を促すことを実証。

【主要目次】1.社会的つながりと生涯学習 2.成人の生活にみるネットワーク、学校教育と学習 3.社会的つながりと成人学習：その証拠となる事実の概観 4.関係性を再考する 5.お次は何？

NPOの公共性と生涯学習のガバナンス

貧困化する日本と政策課題

高橋満著

ISBN 978-4-88713-901-5 C3037 [2009] A 5・208頁・2800円

今日における教育NPOの役割は何か—固有の市民性原理に立つその意義を生涯学習を核に考察。

【主要目次】序 社会教育・生涯学習研究の現代的課題 第一部 NPOの公共性論 (I NPOの公共性と新しい専門性 ほか) 第二部 協同的実践の学習論 (III学びの場としての市民活動 ほか) 第三部 グローバリゼーションと生涯学習のガバナンス (VII グローバリゼーションと市民の学びて ほか)

変革時代の教育を探る

学校・家庭・地域における教育の課題と展望

小沢熹・佐藤三三・村山正明編著

ISBN 4-88713-535-1 C3037 [2003] A 5・208 頁・2500 円

直面する困難な現実を学校・家庭・地域が共に見据え共に考える、実態に根ざした複眼的改革論。

〔主要目次〕 1. 公教育制度の課題と展望 2. 学校教育の課題と展望1 3. 学校教育の課題と展望2 4. 学校教育の課題と展望3 5. 高等教育の課題と展望-大衆化、ユニバーサル化の中での多様化政策 6. 社会教育における課題と展望 7. 地域における教育の課題と展望 8. 家庭における教育の課題と展望

——臨床教育人間学——

既成の概念や理論に囚われず、人間の生の現場、日常の生が露わにする様々な病・闇・弱さをも見つめつつ、人間の生の回復、日常の仕立て直しをめざす臨床教育人間学—本誌はこうした趣旨の下、設立された臨床人間教育学会の学会紀要であり、小社は第2号から刊行・市販を担当。なお、各号は特集名を正題としている。

リフレクション

臨床教育人間学 2

臨床教育人間学会編

ISBN 4-88713-778-3 C3037 [2007]

A 5208 頁・2200 円

関係性をめぐって

臨床教育人間学 4

臨床教育人間学会編

ISBN 978-4-7989-0072-8 C3037 [2011]

A 5・176 頁・2000 円

生きること

臨床教育人間学 3

臨床教育人間学会編著

ISBN 978-4-88713-833-9 C3037 [2008]

A 5172 頁・2000 円

教育（教育史）

教育による社会的正義の実現

アメリカの挑戦 (1945-1980)

D. ラヴィッチ著 末藤美津子訳

ISBN 978-4-7989-0048-3 C3037 [2011] A 5・544 頁・5600 円

理想と実質、量的拡大と学力等、改革が孕む矛盾を浮き彫りにしつつ改革と葛藤の35年を活写した力作。

【主要目次】 1.戦後の教育を主導した人々 2.進歩主義教育の勃興と衰退 3.忠誠心の調査 4.人種と教育—ブラウン判決 5.人種と教育—社会科学と法 6.パークレー校からケント州立大学まで 7.改革主義者、急進主義者、ロマン主義者 8.教育をめぐる新たなかけひき

学校改革抗争の100年

20世紀アメリカ教育史

D. ラヴィッチ著 末藤・宮本・佐藤訳

ISBN 978-4-88713-846-9 C3037 [2008] A 5・664 頁・6400 円

進歩主義教育という理想に潜む思わぬ陥穽—米代表的史家による透徹した「改革」批判の書。

【主要目次】 日本語版への序文 1.教育制度のはしご 2.分かれ道 3.専門家の時代 4.IQテスト 5.学問的カリキュラムに代えて 6.社会の最前線で 7.公立学校の反応 8.反対者と批判者 9.大規模な再編 10.1960年代 11.基準を求めて 解説：現代アメリカの教育とラヴィッチ (末藤) アメリカ教育史研究の中のラヴィッチ (佐藤) 進歩主義教育への評価とラヴィッチの歴史観 (宮本)

ロッキーの麓の学校から

第2次世界大戦中の日系カナダ人収容所の学校教育

F. モリツグ編著 小川洋・溝上智恵子訳者代表

ISBN 978-4-7989-0049-0 C3037 [2011] A 5・440 頁・3800 円

大戦中強制収容された日系人児童の教育は？ 当時の教師・生徒の手記が蘇らす感動的な歴史記録。

【主要目次】 解説1.日系カナダ人二世と第2次世界大戦 (小川洋) 1.カナダは日本と交戦中 2.戦争前 3.ヘイスティングスパーク：最初の集落地 4.最初の日系カナダ人教師 5.最初の印象 6.最初の4校の開設 他18章 補遺 解説 2.日系人が収容されるまで (溝上智恵子)

近代教育学の成立

森川直著

ISBN 978-4-88713-973-2 C3037 [2010] A 5・296 頁・3800 円

カント、ルソー、ペスタロッチーはじめ、生成時に遡り浮彫りする、そのパトスと現代における可能性。

【主要目次】 1.日本の留学生政策の評価研究の目的と枠組み 2.日本と米国の留学生政策と留学生がもたらす経済便益の比較 3.インドネシアにおける日本の留学生政策の成果の分析 4.タイにおける日本の留学生政策の成果の分析第 5.国費留学生と私費留学生の比較 6.留学生10 万人計画前後の比較 ほか

教育の自治・分権と学校法制

結城忠著

ISBN 978-4-88713-891-9 C3032 [2009] A 5・400 頁・4600 円

憲法が示す原理と乖離する現在の教育・学校行政を鋭利に批判し、この背理克服への方途を拓く。

【主要目次】 1.明治憲法下における官治・集権行政と学校法制 2.日本国憲法と教育の地方自治 3.教育主権と国家の教育権能 4.ドイツにおける教育主権と国家の学校監督権 5.ドイツの教育法制における国と地方の権限配分 6.日本国憲法と教育の自由 7.国家の教育権と国民の教育権 8.教員の教育上の自由 ほか

資料で読み解く南原繁と戦後教育改革

山口周三著

ISBN 978-4-88713-878-0 C3037 [2008] A 5・336 頁・2800 円

戦後の教育大改革をその日本側の主導者南原を中心に活写。原資料から辿る当時の改革のエトス。

【主要目次】 序章 戦後教育改革の出発点 1.教育刷新委員会の発足と活動 2.戦後教育制度の骨格の提案 3.学校整備の財源難と新制大学のスタート 4.政治状況の変化と改革の行方 5.教育刷新委員会と南原繁 終章 21世紀の教育改革と教育刷新委員会から学ぶこと 特別寄稿 (寺崎昌男) 教育改革者としての南原繁

近代日本黎明期における「就学告諭」の研究

荒井明夫編

ISBN 978-4-88713-814-8 C3037 [2008] A 5・584頁・6800円

明治初期のこの未曾有の学閥奨励現象は以後の日本教育を決定づけた原史料による画期的研究。

〔主要目次〕 論文編：序章 就学告諭研究の課題と方法 1. 就学告諭と学制布告書 2. 就学告諭にみられる学校構想 3. 就学告諭の論理—就学告諭の視角別分析 4. 就学告諭の地域的事例研究 終章 本研究の総括と今後の課題 資料編

ミッション・スクールと戦争

立教学院のディレンマ

老川慶喜・前田一男編著

ISBN 978-4-88713-821-6 C3037 [2008] A 5・520頁・5800円

戦時展開された、国家と自らの信条の葛藤の実態—膨大な資料調査の下その全貌を検証・総括。

〔主要目次〕 第1部 聖公会と立教学院首脳の動向（戦時下外国ミッション教育の危機 ほか） 第2部 戦時への対応と教育政策（「基督教主義ニヨル教育」から「皇国ノ道ニヨル教育」へ ほか）、第3部 戦時下の学園生活（戦時動員体制と立教中学校、戦時動員と立教大学における教育の変容、戦時下の学生生活 ほか）

近代日本の英語科教育史

職業系諸学校による英語教育の大衆化過程

江利川春雄著

日本英学史学会豊田實賞受賞

ISBN 4-88713-710-9 C3037 [2006] A 5・384頁・3800円

詳細な調査を通じ予想以上に高度な戦前の実態を明示し今日の英語教育にも大きく示唆する労作。

〔主要目次〕 1. 問題の所在と研究方法 2. 中学校・高等女子学校における英語科教育の展開過程 3. 実業学校の英語科教育 4. 師範学校の英語科教育 5. 高等小学校の英語科教育 6. 実業補習学校・青年学校の英語科教育 7. 陸海軍系学校の英語科教育 8. 職業系諸学校における英語科教育の特徴

新版 昭和教育的

天皇制と教育の史的展開

久保義三著

ISBN 4-88713-715-X C3037 [2006] A 5・120頁・1800円

新增補分を通じ国家政策と教育との相克・矛盾を旧版以上に鮮明に浮彫にした決定版通史。

〔主要目次〕 序章 天皇制と教育 1. 大正デモクラシーと教育の再編成 2. 教育の国家統制と治安維持法 3. 天皇制ファシズム教育を支える社会的基盤 4. 軍部の教育支配系列 5. 「御真影」と学校教育 6. 教科用図書調査会の役割と機能 7. 教育制度改革と戦時体制 8. 文部省教育局のファシヨンの役割と機能 他7章

教育の経済的生産性と公共性

ホレス・マンとアメリカ公教育思想

久保義三著

ISBN 4-88713-569-6 C3037 [2006] A 5・336頁・3800円

公教育が結ぶ富と公共性。今日に及ぶ米教育思想の原点を、一次資料を通じ分析・考察した労作。

〔主要目次〕 1. コモン・スクール（公立小学校）の歴史的背景（コモン・スクールの概念 ほか） 2. 公教育思想を支える民主主義、資本主義およびプロテスタンティズム（工業化と公教育の成立問題 ほか） 3. 義務就学の社会的基盤（社会秩序と公教育 ほか） 終章 マンの公教育思想にたいする歴史的評価

ボストン公共放送局(WGBH)と市民教育

マサチューセッツ州産業エリートとの大学の連携

赤堀正宜著

ISBN 4-88713-385-5 C3037 [2001] 四六・320頁・4700円

メディア商業化の激流の中優れた市民教育を展開—草創以来の理念と実態の全てを描くわが国初の労作。

〔主要目次〕 1. 18世紀マサチューセッツ州における産業社会の発展とエリートの形成 2. ローウェル家の形成と市民講座の開設 3. 市民教育と大学 6. WGBH-TV局の放送開始と市民への奉仕 9. 地域社会と公共放送 10. 公共放送の社会的使命 他4章 文献一覧 資料（5点）、ほか

フェルディナン・ビュイッソンの教育思想

第三共和政初期教育改革史研究の一環として

尾上 雅信著

ISBN 4-88713-777-6 C3037 [2007] A 5・256頁・3800円

世界をリードしたフランス公教育の理念の発展を、改革推進者の営為を通じ追究・解明した労作。

〔主要目次〕 序章 本研究の課題と構成 1. 世俗的教育思想の基底 2. 共和主義的改革への志向 3. ウィーン万博派遣とその報告書 4. フィラデルフィア万博派遣とその報告書 5. 万博における「道徳・宗教教育」に関する視察報告 6. 直観教授論の展開 7. 教育制度改革論の展開 終章 本研究の結論

西洋近代幼児教育思想史〔第二版〕

コメニウスからペスタロッチ

乙訓稔著

ISBN 978-4-88713-987-9 C3037〔2010〕 四六・224頁・2300円

初版に加え補論で近代教育思想の意義を総括した、改訂二版。

〔主要目次〕 1.ヨハン・アモス・コメニウス 2.ジョン・ロック
3.ジャン・ジャック・ルソー 4.ヨハン・ハイน์リッヒ・ペスタロッチ
5.ロバート・オウエン 6.フリードリヒ・ヴィルヘルム・フレーベル 補遺 近代教育とポストモダン

西洋現代幼児教育思想史

デューイからコルチャック

乙訓稔著

ISBN 978-4-88713-914-5 C3037〔2009〕 四六・232頁・2300円

20世紀の代表的教育者6名を中心に、それぞれの幼児教育思想の概要と特質を紹介・論考した労作。

〔主要目次〕 1.ジョン・デューイ 2.エレン・ケイ 3.マリア・モンテッソーリ 4.ナジェジュダ・クルプスカヤ 5.パートランド・ラッセル 補遺 子どもの権利論の系譜と展開―エレン・ケイとヤヌシュ・コルチャックを焦点として

自己形成者の群像

新しい知性の創造のために

宮坂広作著

ISBN 4-88713-752-3 C3037〔2007〕 四六・448頁・3800円

戦前期に青春を送った有名無名十数人の先人が示す、現代における自己形成のための新たな道標。

〔主要目次〕 序章 日本における教養の死と再生 1.近代日本における知的青春の悲劇 2.ファシズム前期における大学自治論 3.自性清浄 4.俱会―処、往還一如 5.女性解放運動家の生涯と実績 6.女性社会運動家の生涯と自己形成 7.胸張りて行け面あげよ 8.大学における研究と教育

日本の女性と産業教育

近代産業社会における女性の役割

三好信浩著

ISBN 4-88713-355-3 C3037〔2000〕 四六・288頁・2800円

日本の産業発展における女性の隠れた役割とは？意識変革と女子産業教育を焦点に広角的に追求。

〔主要目次〕 まえがき―女性と産業の教育関係史 1.女性労働に見る近世と近代 2.養蚕業に見る技術教育の変ぼう 3.産業社会の良妻賢母論と女性の職業 4.婦人職業問題と女性解放論 5.女子産業教育機関の施設状況 6.世界の中の女子産業教育 あとがき―隠れた女性役割

教育（教育哲学・道德教育）

社会性概念の構築

アメリカ進歩主義教育の概念史

田中智志著

ISBN 978-4-88713-937-4 C3037 [2009] A 5・424頁・3800円

デューイら進歩主義教育が抱く協同的・倫理的な社会性概念こそ今日の教育状況転換の起爆剤だ。

【主要目次】序章 社会性概念を構築するもの—進歩主義教育思想再訪 1.ハイスクールとメリトクラシー—有用性の個人主義 2.ブランボーの進歩主義教育改革—魂の完全化論 3.カウツの社会的再構築—完全化への信念 4.デューイの社会性概念—完全化とデモクラシー 終章 社会性概念の存立条件—敢然への意志、一命への畏敬

人格形成概念の誕生

近代アメリカの教育概念史

田中智志著

ISBN 4-88713-627-7 C3037 [2005] A 5・352頁・3600円

人格形成における道德陶冶と機能開発の衝突—近代教育の業績成功志向を根源から分析・批判。

【主要目次】序章 人格形成という教育概念の由来 1.ヴァーチュの習慣形成 2.人間をささえる道德的センス 3.人格形成という教育概念の登場 4.コンスクリューション論の人格形成概念 5.業績にとり込まれる人格概念 終章 機能性指向と人格形成概念

グローバルな学びへ

協同と刷新の教育

田中智志編著

ISBN 978-4-88713-848-3 C3037 [2008] 四六・256頁・2000円

競争と選別の教育から人の精神を下支えする協同と刷新の教育へ—第一線研究者を結集した力作。

【主要目次】序章 グローバルな学びへ 1.学校再生の哲学 2.メディア革命を生きる子ども 3.「学力」をどうとらえるか 4.「お金」をめぐる道德教育 5.教育グローバル化の諸相 6.グローバル社会における学力

学びを支える活動へ

存在論の深みから

田中智志編著

ISBN 978-4-88713-977-0 C3037 [2010] 四六・208頁・2000円

「学びの共同体」志向授業担当教師の実践報告を中心にして本書が証す協同活動授業の活力溢れる成果。

【主要目次】序章 学びを支える活動へ 1.景気のよいケーキ屋さん 2.かけ算の物語を創る 3.言にくいことを伝える 4.「ずれ」の解消を求めて 5.レインボーカクテルを作る 6.差異の看過から豊かな思考へ 7.日本列島の立体地図作り 8.科学実験ショーに没頭する 終章 「学びの楽しさ」の舞台作り

道德教育の新しい展開

基礎理論をふまえて豊かな道德授業の創造へ

林忠幸・堺正之編著

ISBN 978-4-88713-936-7 C3037 [2009] A 5・264頁・2300円

教育基本法改正に伴う新学習指導要領の趣旨を生かした、道德教育の基礎理論と実践理論の統合。

【主要目次】序章 道德教育の動向と課題 第1部 道德教育の基礎理論 (1.戦後の道德教育の歩み 他3章) 第2部 学校における道德教育の展開 (5.道德教育の全体的構想 6.道德教育の指導計画 7.道德教育における教材研究の考え方 他4章) 【関連資料】教育基本法／学校教育法 (抄)、学校教育法施行規則 (抄) ほか

新世紀・道德教育の創造

林忠幸編

ISBN 4-88713-450-9 C3037 [2002] A 5・288頁・2800円

時代の閉塞状況をふまえて、心の教育の中核的役割を担う道德教育の新生をめざして編まれた充実の論集。

【主要目次】21世紀における道德教育の課題 第1部 道德教育の未来展望 (世紀転換期の子どもと倫理 性道德意識の変容と学校教育の課題 ほか) 第2部 新しい道德学習の創造 (「道德」授業方法の前提となるもの 生きる喜びを生み出す道德の学習 ほか) 人間としての生き方と道德教育

中学校・道徳授業の新機軸

「書く活動」により道徳的価値の自覚を深める

品川利枝著

ISBN 4-88713-442-8 C3037 [2002] A 5・240 頁・2381 円

中学生に、「書く活動」を通じて道徳的価値の定着をはかる著者長年の実践書。

〔主要目次〕序 1.書く活動を中心にした道徳授業の構想
2.書く活動を中心にした道徳授業の展開方法 3.感想文による道徳授業の展開 4.課題文による道徳授業の展開
5.芥川龍之介『蜘蛛の糸』の授業

体験的活動の理論と展開

「生きる力」を育む教育実践のために

林忠幸著

ISBN 4-88713-389-8 C3037 [2001] 四六・240 頁・2381 円

「生きる力」を育む体験的活動・問題解決学習の理論と実際を詳説。特に教師・研究者・学生必読の書。

〔主要目次〕第1部 体験的活動の理論的背景(体験的世界の教育学の構造 経験と体験をめぐる断章 ほか) 第2部 生活科、社会科と学級活動(生活科と自立した生活主体の形成 郷土を教材化する意義と視点 ほか) 第3部 道徳教育の展望(道徳教育の基本問題 道徳の実践力の育成 ほか)

人間形成の基礎理論 [第三版]

山邊光宏著

ISBN 978-4-88713-940-4 C3037 [2009] A 5・240 頁・2381 円

崩壊に瀕した人間形成力の現代的再生をめざす理論と方法は? 今日の実態に即した改訂最新版。

〔主要目次〕1.道徳と人間形成 2.人間形成と道徳性の発達理論 3.アメリカにおける人間形成思想の源流と特質 4.わが国における人間形成の史的展開 5.道徳教育の全体構造 6.人間形成としての生徒指導と道徳教育 7.道徳教育の計画 8.子どもをとりまく環境と人間形成 9.人間形成における子ども・保護者・教師

教育の本質を求めて

山邊光宏著

ISBN 4-88713-612-9 C3037 [2005] A 5・176 頁・2000 円

道徳と名誉、人間形成と親・教師の役割、老と死等、教育の根本問題を考え抜くためのテキスト。

〔主要目次〕1.現代における道徳の崩壊と創造 2.現代教育と名誉の問題 3.豊かな人間性を育む教育 4.畏敬の念への教育 5.親と教師 6.老いと死の人間形成論的考察 参考資料

シュプラングー教育学の宗教思想的研究

山邊光宏著

ISBN 4-88713-667-6 C3037 [2006] A 5・288 頁・5200 円

その教育学と一体をなす独自の宗教思想に光を当てて詳細に論究した、わが国初の本格的研究。

〔主要目次〕シュプラングー教育学における宗教と良心 第1部 シュプラングーの宗教思想(宗教基礎論 シュプラングー宗教思想における主観-客観問題 シュプラングーの神秘主義 ほか) 第2部 良心教育への構想(シュプラングー教育思想における主観-客観問題 ほか) 付論1 シュプラングーのソクラテス観 付論2 老いと死の人間形成論的考察

人間としての在り方を求めて

存在形成の考察

E. シュプラングー著 村田昇・山崎英則訳

ISBN 4-88713-127-5 C3037 [1990] A 5・272 頁・2900 円

シュプラングー思想の核心をなす文章を体系的に配列。一冊で全体像を把握できる絶好の入門書。

〔主要目次〕1.愛の段階 2.自己自身との交わりについて 3.たましいの形成力 4.日常の成熟 5.自己形成と陶冶 6.想像の力 7.若いひと 8.女性の生活圏 9.人格の根本形成 10.内面的な生活史 11.人格的決断の倫理 12.形成的精神 13.政治的・歴史的世界における責任、他3章

教育学の展望

現代的教育問題

E. シュプラングー著 村田昇・片山光宏訳

ISBN 4-88713-051-1 C3037 [1987] A 5・272 頁・2900 円

人間の本質への透徹した思索の下、教育改革の在るべき方向を根源から照射した名著。待望の新訳。

〔主要目次〕1.教育の未来に及ぼす影響の力と限界 2.五つの青年世代(1900～1949) 3.内面的学校改革 4.現代の国民学校 5.基礎的なものの効果性 6.教育の根本様式 7.人間性への教育〔付〕1.学習学校から教育学校へ 2.自由への教育者としての教師

教育の平等と正義

K. ハウ著 大桃敏行・中村雅子・後藤武俊訳

ISBN 4-88713-568-8 C3037 [2004] A 5・240頁・3200円

錯綜・矛盾する平等概念を的確に論究・整理し、今日在るべき平等・正義像への新鮮な展望を拓く。

〔主要目次〕 1. 概要 2. ラディカル・リベラリズムの枠組み
3. ジェンダー 4. 多文化主義 5. セグリゲーション 6. テスト
7. 学校選択 8. 結論

ナチズムと教育

ナチス教育政策の「原風景」

増淵幸男著

ISBN 4-88713-567-X C3037 [2004] 四六・352頁・2800円

当時の代表的教育学者の言説分析等を通じ教育のナチス荷担を追求。現代日本の状況へ鋭く警告。

〔主要目次〕 1. ユダヤ人問題から見えてくる教育の課題
2. ナチズムの人種論イデオロギーと教育 3. ナチス政権下の抵抗運動とユダヤ人学校 4. 戦後ドイツの歴史認識とナチス教育への反省 5. ナチズムと教育の問題-罪と罰

ドイツ教育思想の源流

教育哲学入門

R. ラサーン著 平野智美他訳

ISBN 4-88713-444-4 C3037 [2002] A 5・240頁・2800円

教育学の五つの類型を客観的に考察し、今日におけるその価値と機能を追求した、定評ある入門書。

〔主要目次〕 序章 1. 精神科学的教育学 2. 論理実証主義、経験主義、分析的科学理論 3. 規範的教育学 4. マルクス主義、ネオマルクス主義、批判的教育科学 5. 教育学と心理学
結論

洞察=想像力

知の解放とポストモダンの教育

D. M. スローン著 市村尚久・早川操監訳

ISBN 4-88713-371-5 C3037 [2000] A 5・400頁・3800円

科学的実在を超えた世界の全体性洞察のため知の解放と想像力の回復を。真のポストモダン構築の書。

〔主要目次〕 序文 1. 分断された思考、砕かれた世界 2. 全体性の回復をめざして—ラディカルな文字と伝統的な叡智
3. 全体性の回復をめざして—科学のもう一つの見方 4. 洞察=想像力 5. 生きた思考、生きた世界 付. 想像力、教育、ポストモダン時代の可能性 参考文献

地上の迷宮と心の楽園

コメニウス・セレクション

J. A. コメニウス著 藤田輝夫訳・相馬伸一監修

ISBN 4-88713-703-6 C3310 [2006] A 5・272頁・3600円

現世の虚偽への批判を通して心への回帰に至る精神の軌跡—本邦未訳の古典、選集として刊行開始。

〔主要目次〕 地上へ巡礼に出る理由 巡礼は遍在氏を案内人に行しました 甘言が付きまといました 巡礼は手綱と眼鏡とをかけられました 巡礼は高いところから地上を見わたしました 運命が天職を配分していました 巡礼は地上の中央広場を調べて、次のようなことが分かりました ほか

人権への教育と啓発

囚われやこだわりの克服

川島順次郎著

ISBN 4-88713-454-1 C3037 [2002] A 5・224頁・2000円

意識、観念、価値観の上で同和問題はまだ終わっていない。学生たちの手記を交えた新人権教育論。

〔主要目次〕 1部：学生たちの回想（すばらしい先生、尊敬する親 あの体験が私を変えた 被差別の怒りと悶擾） 2部：人権問題・同和問題の元凶とその克服（人権侵害の元凶は心の囚われやこだわり 浄穢観の背景（年表） 人間の関係を壊していくもの、他） 3部：資料編

教育（学びの諸相と教育者群像）

演劇教育の理論と実践の研究

自由ヴァルドルフ学校の演劇教育

広瀬綾子著

ISBN 978-4-7989-0047-6 C3037 [2011] A 5・372頁・3800円

著名なシュタイナー学校のそれを中心に演劇教育の理論と実践を総合的に究明したわが国初の労作。

〔主要目次〕序 章 研究目的、先行研究および研究方法
1. ドイツの公・私立学校およびヴァルドルフ学校の演劇教育
2. ヴァルドルフ学校の演劇教育の基盤としての人智学的人間観
3. ヴァルドルフ教育における言語と演劇
4. ヴァルドルフ学校における演劇教育の理論と実践
結 章 演劇を指導できる教師の育成

協同と表現のワークショップ

学びのための環境のデザイン

茂木一司編集代表

ISBN 978-4-7989-0025-4 C3037 [2010] A 5・272頁・2400円

寄り集って自分の居場所を見つけ思わず学んでいる新たな参加型体験学習の全てを一冊に凝集。

〔主要目次〕1. ワークショップとは何ですか？それを支える学習理論とは？ 2. ワークショップのための学習環境デザインとは何ですか？ 3. ワークショップのつくり方は？ 4. ワークショップの記録・評価とは？ 5. 映像メディア・ワークショップとは？ 6. 日本文化・異文化理解のワークショップとは？ 7. 身体・感覚を使ったワークショップとは？ 8. 特別支援のためのワークショップとは？

ＩＣＵリベラルアーツの心

回想のワース先生

回想のワース先生編集委員会

ISBN 978-4-88713-946-6 C1037 [2009] A 5・333頁・3200円

同校リベラルアーツの主導者の一人故ワース教授への回想を通じ活写されるＩＣＵ教育の具体像。

〔主要目次〕はじめに 第Ⅰ部 回想のワース先生 第Ⅱ部 わが生涯とＩＣＵ 第Ⅲ部 略年譜・主要業績目録 あとがき

学ぶに値すること

複雑な問いで授業を作る

小田勝己著・白鳥信義編集協力

ISBN 4-88713-588-2 C3037 [2006] 四六・128頁・1200円

自ら思考し発見する学びをめざし、子どもを触発する複雑な問いの作問・指導法を具体的に提示。

〔主要目次〕序章 学びのヴァーチャル化を排す 1. 学ぶに値することの現在位置 2. 「学ぶに値すること」の構造と設計 3. 考える問いをどう作るのか

学校発カリキュラム

小田 勝己編著

ISBN 4-88713-769-1 C3037 [2007] A 5・224頁・2500円

学校と教師自身が作り児童を本質的な学びへ導くカリキュラム—この新たな授業の貴重な実践例。

〔主要目次〕序章概念をつきつめる 1. 「本質的な問い」を持つこと 2. 大単元「瀬戸川」で作る「問い」 3. 確かな学力を育てる探究学習 4. 「大発見カード」で実践するカリキュラム 5. 中学理科の「考える問い」 6. 単元自己評価表を活用する 7. 個に応じた学習テーマ設定とその展開 8. 高校公民科における「考える問い」 ほか

プラットフォーム環境教育

石川聡子編著

ISBN 978-4-88713-792-9 C3037 [2007] A 5・256頁・2400円

環境をめぐる多彩な領域・現場での活動の集積をもとに環境教育の新たな広がりと可能性を追求。

〔主要目次〕1. 環境への気づきにいざなう環境絵本の世界 2. 水害から地域の環境をみる 3. 学校で扱いにくい環境「問題」学習に挑む 4. 環境教育にある障壁を乗り越える教員の成長 5. 地域の環境再生と環境診断マップづくり 6. リナックス型の環境教育プログラムづくり ほか

環境のための教育

批判的カリキュラム理論と環境教育

J. フィエン著 石川聡子他訳

ISBN 4-88713-403-7 C3037 [2001] A 5・256頁・2300円

社会批判と政治変革を真向に掲げ、教育を通じ価値観の全面転換をめざす環境教育の新地平。

【主要目次】序章 ディーキン-グリフィス環境教育プロジェクト 1. 環境教育における批判的カリキュラム理論:概要 2. イデオロギー批判と環境教育 3. 環境教育における批判的教育学 4. 環境教育のカリキュラムにある問題 5. 環境教育のための社会行為理論

幼稚園と小学校の教育

初等教育の原理

乙訓稔編著

ISBN 978-4-7989-0059-9 C3037 [2011] A 5・216頁・2200円

今日の課題である「幼少連携」を焦点に、比較的論考の少ない初等教育の原理を鮮明に論及する。

【主要目次】1. 教育学と教育原理 2. 保育と教育 3. 子どもの心身の発達 4. 初等教育の歴史と制度 5. 初等教育の教育目的 6. 初等教育の教育課程 7. 初等教育の教育方法 8. 初等教育の教科教育とその教育法 9. 道徳教育と特別活動 10. 生徒指導と教育相談 11. 教員の職務

ホームスクールの時代

学校に行かない選択：アメリカの実践

M. メイバリー・B. レイ他著 秦明夫・山田達雄監訳

ISBN 4-88713-262-X C3037 [1999] A 5・188頁・2000円

学校が教育の全てではない。親教師、家庭学校輩出の実例をもとに注目の新教育理論を紹介・論考。

【主要目次】1. ホームスクールとは何か 2. ホームスクール運動の発達段階 3. 子どもを家で教えている親たち 4. 親教師から見たホームスクール 5. ホームスクールと学校の関係 6. 教育長のホームスクールに対する見方と政策 7. ホームスクールの特集

教育政策の原理

比較教育研究

N. ハンス著 乙訓稔訳

ISBN 978-4-88713-866-7 C3037 [2008] A 5・200頁・2800円

教育政策研究の歴史的・古典的名著であり、比較教育研究の先駆的業績の全訳。

【主要目次】1. 民主主義と教育 2. 国家と教会 3. 国家と家族 4. 中央集権と地方分権 5. 少数民族 6. 教育の階梯 7. 特殊児童 8. 教師 9. 教育課程 教科書 教授法 10. 大学 11. 教育財政 12. 国家主義と国際主義

教育の論究【改訂版】

乙訓稔編

ISBN 978-4-88713-868-1 C3037 [2008] A 5・280頁・2400円

教科技術にも増して重要な教育への確固たる信念を培うべく編まれた正統かつ今日的教育原理論。

【主要目次】1. 教育学と「教育原理」 2. 教育の意義と本質 3. 西洋の教育の歴史 4. 近代教育思想と新教育思潮 5. 日本の近代以降の教育 6. 教育課程の原理と編成 7. 教育方法の理論と技術 8. 教育制度と教育行政 9. 教育法規と教育経営 10. 教師の歴史と職務

「こころの知性」を育む

幼稚園児から中学生までの教育

G. ドティ著 松村京子監訳

ISBN 4-88713-541-6 C3037 [2004] A 5・176頁・1600円

地の教育だけが教師の資格ではない。現代が求める「心の教育」法を具体的に示す新テキスト。

【主要目次】第1部 「こころの知性」は教える必要があるのでしょうか? (「こころの知性」の理解 ほか) 第2部 「こころの知性」の構成要素 (自分と他者についての認識 自分と他者の肯定 ほか) 第3部 「こころの知性」のカリキュラムへの導入 (「こころの知性」の学習の統合: 「こころの知性」を核にした主題単元の創造) 付録

早稲田大学 教育実習マニュアル(第5版)

早稲田大学教育実習マニュアル刊行会編

ISBN 978-4-7989-0034-6 C3037 [2012] B 5・160頁・1100円

教育実習の全てを網羅した好評マニュアル第5版。早大のみならず他大学で教職を志す学生にも有用。

【主要目次】はじめに 1. 学校教育とは 2. 教育実習とは 3. 授業の展開 4. 教育実習の心得 5. 学習指導案の作成。 6. 教育実習の記録

日本の女性学教育

内海崎貴子編

ISBN 4-88713-334-0 C3037 [1999] A 5・192頁・2000円

広範なアンケート調査を踏まえ、教育内容・方法の普遍化・共通化を通じての一層の発展を図る。

【主要目次】女性学と女性学教育 女性学教育の現状(自由記述内容の検討 調査の分析) 女性学教育の実際 女性学教育の独自性・フェミニスト・ベダゴジーをめぐる問題 女性学教育発展のために

日本教育の再建

現状と課題、その取り組み

ISBN 4-88713-399-5 C3037 [2001] 四六・480頁・2800円

少年犯罪の多発等、今日日本は危うい。学校長等の実践記を交え、再建への理念と心情を吐露。

【主要目次】1. 日本教育の危機 2. 最近の少年問題と教育の再建-神戸市少年連続殺傷事件から 3. 宗教的情操の陶冶-「生命に対する畏敬の念」を基に 4. 教育論争 5. 再建への努力(「やまんば広場」のロマンス 保護者・地域の期待に応える学校改革 いじめ0の学校をめざして 感動の卒業式 警察と学校との協力 軽音楽と総合学習)

日本教育の危機とその克服

村田昇編著

ISBN 4-88713-409-6 C3037 [2001] A 5・112頁・952円

日本教育を救うため今何が重要か。平和が甦った日の原点を顧み切々と語る、『日本教育の再建』続編。

【主要目次】1 日本教育の危機とその克服(二〇〇〇年八月一日とわたくしの願い 自虐史観からの脱却 過去無量の祖先の生命を受け継ぐ 心の中に「平和の砦」を) 付論1 原爆体験記(わたくしの原爆前後 妻と原爆) 付論2 生活の原点(目覚めて生きる-凶悪犯罪に思う そよ風)

視聴覚教育の新しい展開(第二版改訂版)

野津良夫編

ISBN 4-88713-296-9 C3037 [1998] 四六・288頁・2500円

視聴覚教育の現状を総括し、新たな教育のツールとしての特性と将来を展望。最新データの新版。

【主要目次】1. 視聴覚教育の新しい展開 2. 展示と簡易視覚教材 3. 静止投影機器 4. 音響機器 5. 映画・ビデオ

高齢者教育論

松井政明, 山野井敦徳, 山本都久編

ISBN 4-88713-268-9 C3037 [1997] A 5・192頁・2200円

高齢化の現実に対応して、社会・福祉、さらに学校・成人・高齢者における現行教育の抜本改革を提言。

【主要目次】序 高齢化社会研究への招待 I部 高齢化社会・高齢者の状況と教育 1. 高齢者の状況と心理 2. 生涯発達からみた高齢期、他4章 II部 高齢化社会における教育理念と学校教育の実践 7. 高齢化社会の中の社会科・公民科教育、他3章

生きる力と豊かな心

村田昇著

ISBN 4-88713-281-6 C3037 [1997] 四六・240頁・1800円

今こそ青少年が「生きる力」に目覚める教育を含蓄ある音楽論を交えた、新たな「心の教育」の勧め。

【主要目次】I部 生きる力と豊かな心を育てる: 1. 豊かな心と教育 2. 豊かな人間性を支える感情 3. 豊かな心情を育てよう 4. 「生命に対する畏敬の念」を育てる 5. 自然が育てる心、他8章 II部 E. シュブランガー 音楽編(家庭音楽について、他)

老兵の遺言状

現代教育警世録

新堀通也著

ISBN 4-88713-261-1 C3037 [1997] 四六・224頁・1800円

世直しはこの「大変な」現実の直視から一現状突破へのユニークな直言が随所に光る真の警世の一冊。

【主要目次】I. 教育「大変な時代」の到来(1. 「世紀末」の教育 2. 「大変な時代」の学校) II. 現実直視の回避(1. 「甘い」教育論 2. 道徳教育の失敗) III. 反時代的考察(1. 教育的スローガンの吟味 2. 教育的錯覚)

教養の復権

沼田裕之・増淵幸男・安西和博・加藤守通著

ISBN 4-88713-229-8 C3037 [1996] A 5・240頁・2500円

従来の皮相な理解を排し、自己と社会を共に高めるその真の在り方を、今日的視角から論究した好著。

【主要目次】序 今、なぜ教養か？ 1. 教養の形而上学 2. 教養のレトリック・ヒューマンイズムの伝統とその今日の課題 3. 文化と「教養」―比較文化的考察 4. 大学の理念と教養教育 5. 知識と教養―現代における教養の可能性

一般教育学概説

R. ラサーン著 小笠原道雄・坂越正樹監訳

ISBN 4-88713-242-5 C3037 [1996] A 5・272頁・2428円

広範な学問的基盤から適確に構成された新しい教育学テキスト。教育の本質解明と基礎知識習得に最適。

【主要目次】序 Ⅰ. 陶冶論的次元：プラトン パスタロッチ フンボルト、他3節 Ⅱ. 人間学の次元：人間学の問題 人間の言語性、他4節 Ⅲ. 社会的及び政治的次元：社会的存在としての人間 社会的変化 Ⅳ. 学習の次元：人間の世界像 装置 ビアジェ、他2節

いじめ、ひとりで苦しまないで

学校のためのいじめ防止マニュアル イギリス教育省の試み

イギリス教育省著 池弘子・香川知晶訳

ISBN 4-88713-248-4 C3037 [1996] A 5・192頁・1553円

広範な調査と実践評価に基づく徹底した具体策の展開で、わが国読者を一驚させた関係者必読の書。

【主要目次】1. いじめの防止のための全校的な対策 2. いじめの実態 3. 学校でいじめはどのくらい起こっているか？ 4. カリキュラムによるいじめ問題の指導 5. いじめている生徒といじめられている生徒への対処 6. 教室外でのいじめへの対処 7. 事例研究 他3章 参考資料

非言語的パフォーマンス

人間関係をつくる表情・しぐさ

佐藤綾子著

ISBN 4-88713-517-3 C3011 [2003] A 5・216頁・2800円

新たなパフォーマンス文化構築のため早くから実践を積み重ねてきた、著者積年の研究の集大成。

【主要目次】はじめに 1. 非言語的パフォーマンスとは何か―概念規定と本書の目的 2. 非言語的パフォーマンスはトレーニングで変わる―非言語的パフォーマンスの実践 3. 人間関係づくりにおける顔の表情トレーニングの実験 おわりに 著者文献 引用文献 索引

子どもの言語とコミュニケーションの指導

D. K. バーンスタイン他編 池弘子他訳

ISBN 4-88713-359-6 C3037 [2000] A 5・256頁・2800円

前著よりさらに具体的に言語指導の立案・実施について詳論。言語臨床家・教師必読の文献。

【主要目次】1. 早期コミュニケーションの評価と指導（早期指導における言語病理学者のかかわり方に関する指針 ほか） 2. 幼児の言語指導計画の立案（言語指導とは？ 早期言語指導における言語臨床家の役割 ほか） 3. 学校における言語指導（特殊教育の考え方における最近の変化 ほか）

子どもの言語とコミュニケーション

発達と評価

D. K. バーンスタイン他編 池弘子他訳

ISBN 4-88713-359-6 C3037 [1994] A 5・256頁・3200円

子どもはいかにその言語を獲得していくのか。その過程および障害を詳論し、障害児教育テキストに最適。

【主要目次】1. 言語の性質とその障害 2. 言語獲得の社会的基礎 3. 言語発達の認知的基礎 4. 初期の言語発達 5. 就学前期の言語発達 6. 学齢期の言語発達 7. 言語障害児の評価

学校のアナトミア

ヴェーバーをとしてみた学校の実像

柳治男著

ISBN 4-88713-136-4 C3037 [1991] A 5・336頁・3600円

近代学校の原理的批判を通してその根源的再生へ。ヴェーバーの問題意識と交響する本格的学校論。

【主要目次】序. 学校問題と学校論の課題 1. 世界の全般的合理化とヴェーバーの教育論 2. プロテスタントの人間像と教育 4. 合理的学校の成立 5. 機械装置としての近代学校 7. 学校の人間化と機械原理の不可視化 終. 現代学校の実像と位置、他2章

メタフォリカル・コンピテンス

比喩的表現の理解と運用

東眞須美著

ISBN 4-88713-648-X C3082 [2005] A 5・368頁・5200円

隠喩の理解と運用を軸に外国語運用能力向上への理論と方法を追求。外国語教育者必読の書(英文)。

【主要目次】1.序章 2.文献研究 3.研究1-メタファー理解・運用(MC)テスト作成 4.研究2-MCテストの準備・実施 5.研究3-メタファー理解・運用(MC)テストの実施・検証 6.研究4-メタファー理解・運用(MC)テストの実施・再検証 7.結論

フリードリヒ・フレーベル

その生涯と業績

J. ブリュッファ著 乙訓稔・廣嶋龍太郎訳

ISBN 978-4-7989-0088-9 C3037 [2011] A 5・216頁・2800円

具体的な遊具や作業教材を具えた文化教育学で知られるその生涯と業績に関する古典的研究の全訳。

【主要目次】1.幼年時代と修行時代 2.イェナでの大学生 3.遍歴時代 4.フランクフルト・アン・マインでの教師 5.ペスタロッツのもとでの二年間 6.その後の大学での研究 7.球体体験 8.解放戦争への従軍 9.結晶の世界への沈潜 10.カイルハウ学園の設立者 11.1826年の著作『人間の教育』ほか

フレーベルとペスタロッツ

その生涯と教育思想の比較

J. H. ボードマン著・乙訓稔訳

ISBN 4-88713-557-2 C3037 [2004] A 5・144頁・2500円

両者の教育思想の特質を簡潔に要約し、その影響・相互関係と共に共通・相違点を比較・考察。

【主要目次】第1部 ペスタロッツ(ペスタロッツの生涯 ペスタロッツの教育原理 ペスタロッツの教育著作) 第2部 フレーベル(フレーベルの生涯 フレーベルの教育原理 フレーベルの教育著作 幼稚園・園児と作業 フレーベルとペスタロッツの教育思想の比較)

教育と人権

人権教育の思想的地平

W. ベーム編 岡野治子／乙訓稔監訳

ISBN 978-4-88713-762-2 C3037 [2007] A 5・192頁・2100円

独伊の著名な研究者を結集し、相互的な関係として推進されるべき教育と人権の問題を考察する。

【主要目次】1.人権の教育学のための基礎 2.人権 3.人権の普遍主義と愛国心 4.キリスト教徒人権 5.人間の尊厳と人権についての展望 6.子どもの権利?

ペスタロッツと人権

政治思想と教育思想の連関

乙訓稔著

ISBN 4-88713-474-6 C3037 [2003] A 5・320頁・3200円

その個人権確立をめざす教育思想を、当時の政治思想との連関を軸に今日の眼で捉え直す新研究。

【主要目次】序章 研究課題と研究方法 1.ペスタロッツとその時代 2.政治と教育の主題としての人間 3.ペスタロッツの政治思想 4.教育思想の根本としての自然と道徳 5.ペスタロッツの国民教育の理念 結章 人権としての教育思想

ペスタロッツのシュタンツだより(改訂版)

クラフキーの解説付

W. クラフキー著・森川直訳

ISBN 4-88713-258-1 C3037 [2004] 四六・160頁・2000円

新たな分析・解釈によってこの古典を現代に蘇らせたと評される優れた論考。平易な新訳と共に収録。

【主要目次】1.ペスタロッツの『シュタンツだより』(1799年)の新訳 W・クラフキーの解釈:1.序文 2.解釈の前提(シュタンツの実験をめぐる外面的歴史 手紙の構成) 3.内容の体系的な解釈(出発の状況 道徳教育の方法 教授経験と教授原理)

ペスタロッツとルソー

ルソーの批判者にして完成者としてのペスタロッツ

F. ハーゲル著 乙訓稔訳

ISBN 4-88713-205-0 C3037 [1994] A 5・112頁・2000円

単純には捉えられぬ教育史上の二巨人の関係を追求し、両者の、又近代教育の特質を明らかにする。

【主要目次】1.序論:1.ペスタロッツにとってのルソーの意義、他1節 II.ルソーの哲学思想と教育思想の特質:1.ルソーの思想の根本問題、他1節 III.ルソーの思想的特質とペスタロッツの関係:1.人間の本質についての根本的問い 2.神学と人間学、他4節

マリア・モンテッソーリ（全訂版）

その言葉と写真が証す教育者像

H. ハイラント著 平野智美・井出麻里子訳

ISBN 4-88713-331-6 C3037 [1999] 四六・256頁・2500円

モンテッソーリ自身の証言と多くの写真を通して描き出されたその生涯と業績。数多い伝記の白眉。

【主要目次】 1. 幼年時代から青年時代へ 2. 医学の研究 3. 研修時代 4. イタルとセガン 5. 子どもの家 6. 「モンテッソーリ法」 7. モンテッソーリ運動 8. モンテッソーリとフレーベル 9. 幼児の秘密 10. 晩年 第11章 吸収する心 第12章 人間の形成

教育改革への提言集（第1集）

日本教育制度学会編

ISBN 4-88713-471-1 C3037 [2002] A 5・248頁・2800円

日本教育制度学会10周年の記念事業として学会員の教育改革への提言を集録。以後年間事業に定着。

【主要目次】 1. 教育制度の原理を考える 2. 早幼児期における発達・学習支援制度の構築を 3. 義務教育制度の見直し 4. 青年期の教育制度 5. 大学制度 6. 教師教育制度 7. 学校施策の改革 8. 学校経営制度の改革

教育改革への提言集（第2集）

日本教育制度学会編

ISBN 4-88713-532-7 C3037 [2003] A 5・224頁・2800円

「教育制度改革のグランドデザイン」をテーマに諸改革の吟味・批判を交えた充実の第2集。

【主要目次】 生涯発達支援教育制度のグランドデザインを描く、脱「たくましい日本人」の教育改革を 中央教育審議会の教育基本法改正審議に見る学習権論 公立小・中学校の学校選択制と親の教育権 子育て支援をめぐる幼児教育制度の改革課題 青年期教育の課題 日本における「キャリア教育」導入に向けた提言 ほか

教育改革への提言集（第3集）

日本教育制度学会編

ISBN 4-88713-580-7 C3037 [2004] A 5・256頁・2800円

各領域ごとの改革の在り方等、学会の総力を挙げ改革の理念と実際を確認・推進する第3弾。

【主要目次】 第1部 教育改革の原理（「知る」から「分かる」の教育へ 教育のみらい学校のゆくえ ほか） 第2部 各制度領域の改革（義務教育など学校教育に係る諸制度のあり方について 公立幼稚園という問題 高等学校「普通科」の課題と改革の方向性 大学卒業制度の改革提言 ほか）

教育改革への提言集（第4集）

改革はここから

日本教育制度学会編

ISBN 4-88713-638-2 C3037 [2005] A 5・192頁・2800円

制度改革を教育現場の実態改革へ導くため、新たな批判の眼で現状を分析・論究する提言第4弾。

【主要目次】 1. 「国際理解教育」と「国際教育」の概念整理を 2. 「人間の安全保障」の議論と日本の教育改革 3. 子どもの人権保障を目指す幼保一元化の改革課題 4. 「親と子が共に育つ」視点に立った幼稚園経営 5. 授業改革への提言 6. 定時制の現代的特徴から出発する高校教育改革 7. おとな準備教育の在り方 ほか

教育改革への提言集（第5集）

教育基本法改正案の意義を考える

日本教育制度学会編

ISBN 4-88713-725-7 C3037 [2006] A 5・192頁・2800円

研究者の視点を集結し、今日に焦点・教育基本法改正問題の特集。毎年刊の意欲あふれる提言集。

【主要目次】 第1部 教育基本法改正案の意義を考える（教育基本法改正案と今後の日本の教育 教育基本法改正案「愛国心」条項の意味 教育基本法改正 ほか） 第2部 教育改革への提言（学校教育に対する規制緩和・民間開放の論理と問題点 校長がリードする教育改革 ほか）

学校教育研究

日本学校教育学会機関誌。研究者と現場教師が一体となって理論と実践の統一を図る
との学会趣旨の下、1号から9号まで小社が発行・市販を担当。

学校教育研究1

〔特集〕新しい学校教育への道

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-043-0 C3037 [1986]

A5 ・282頁・2500円

学校教育研究6

〔特集〕続・学校研究再考

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-135-6 C3037 [1991]

A5 ・224頁・2524円

学校教育研究2

〔特集〕学校教育の理論と実践

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-056-2 C3037 [1987]

A5 ・242頁・2300円

学校教育研究7

〔特集〕学習指導要領を問う

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-149-6 C3037 [1992]

A5 ・260頁・2718円

学校教育研究3

〔特集〕学校教育の功罪

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-085-4 C3037 [1988]

A5 ・242頁・2400円

学校教育研究8

〔特集〕学校学習を問い直す

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-178-X C3037 [1993]

A5 ・288頁・2913円

学校教育研究4

〔特集〕実践研究方法論の構築

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-104-6 C3037 [1989]

A5 ・304頁・2800円

学校教育研究9

〔特集〕教科教育研究の現在

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-202-6 C3037 [1994]

A5 ・280頁・2913円

学校教育研究5

〔特集〕学校研究再考

日本学校教育学会編

ISBN 978-4-88713-126-7 C3037 [1990]

A5 ・312頁・2800円
